

令和5年度 ども若者★いけんぷらす
「いけんぷらすをより良くするために」
アンケート調査結果

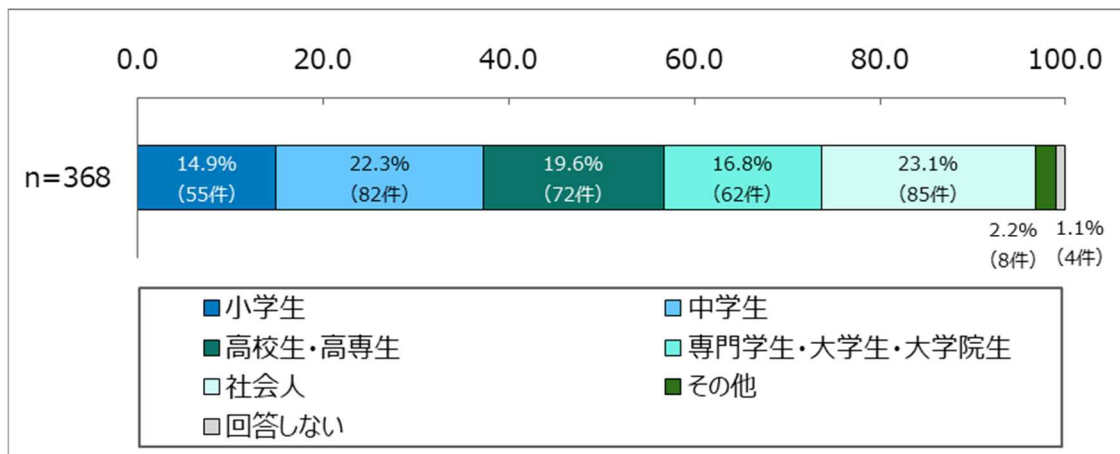
参考資料 1

○調査概要

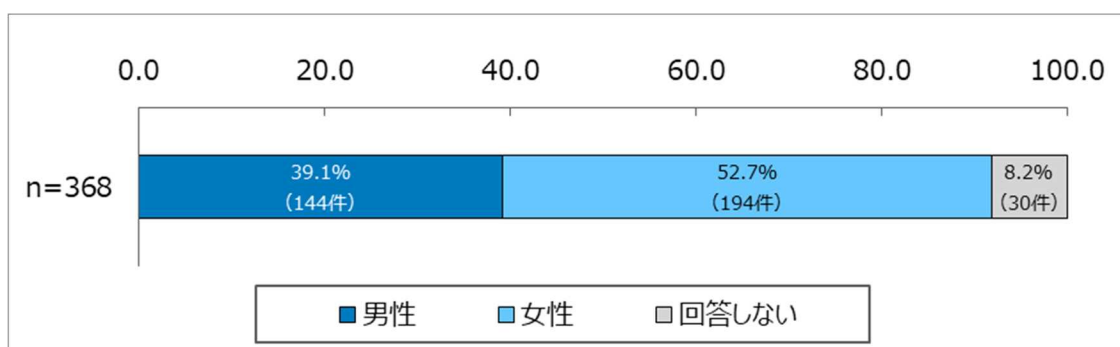
- (1) 調査テーマ
 - いけんぷらすをより良くするために
- (2) 調査対象
 - 「ども若者★いけんぷらす」の「ぷらすメンバー」に登録している方
- (3) 回収状況
 - 有効回答数：368 件
- (4) 調査方法
 - Google フォームを用いた WEB アンケート調査
- (5) 調査期間
 - 令和6年1月9日（火）～1月31日（水）

○調査結果

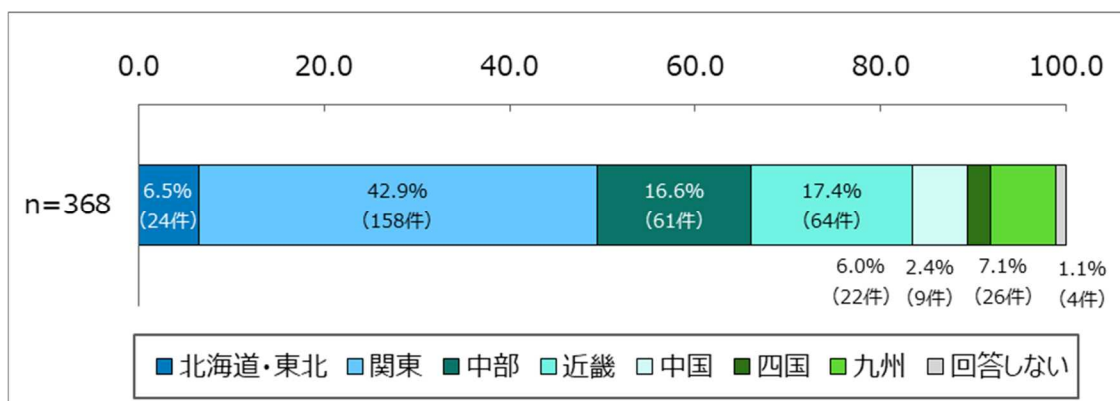
Q1. あなたの学校や仕事の種類（しゅるい）を教えてください。（単数回答）



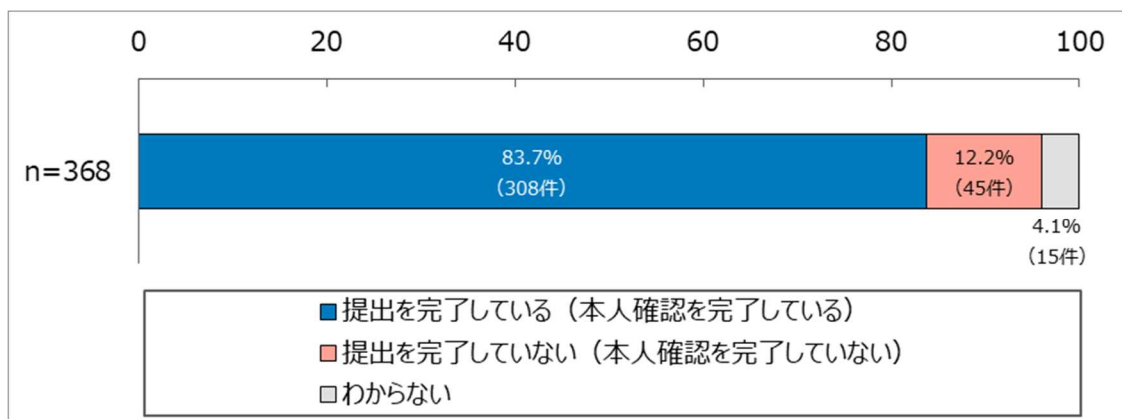
Q2. 性別(せいべつ)を教えてください。（単数回答）



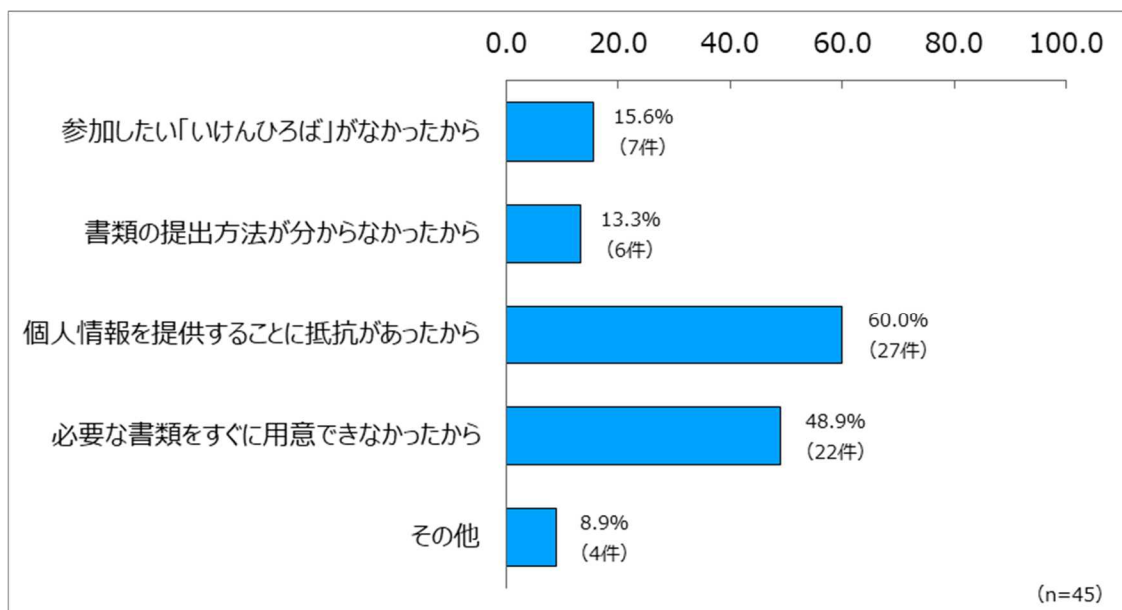
Q3. あなたがお住まいの都道府県(とどうふけん)を教えてください。（単数回答）



Q4. 年れいのわかる書類（しよるい）の提出（ていしゅつ）は完了していますか？（単数回答）



Q5. 年れいのわかる書類（しよるい）の提出を完了していない理由を教えてください。（複数回答）
 （Q4で「2.提出を完了していない（本人確認を完了していない）」を選んだ人のみ回答）

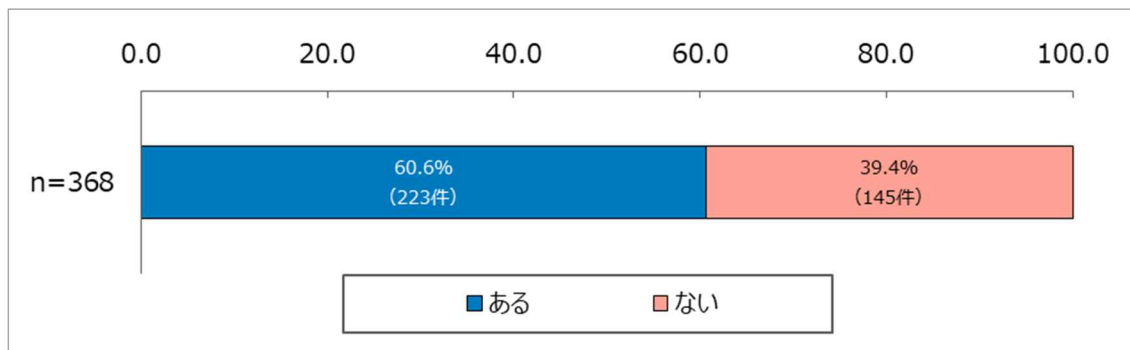


Q5. 「その他」の内容

- 時間が無かったから
- まともなことをしてくれる様子がなく期待が持てないから
- 母親から「もうちょっと待ってみて」と言われたから
- 個人確認は大切だと思うのですが、ためらいはあります。

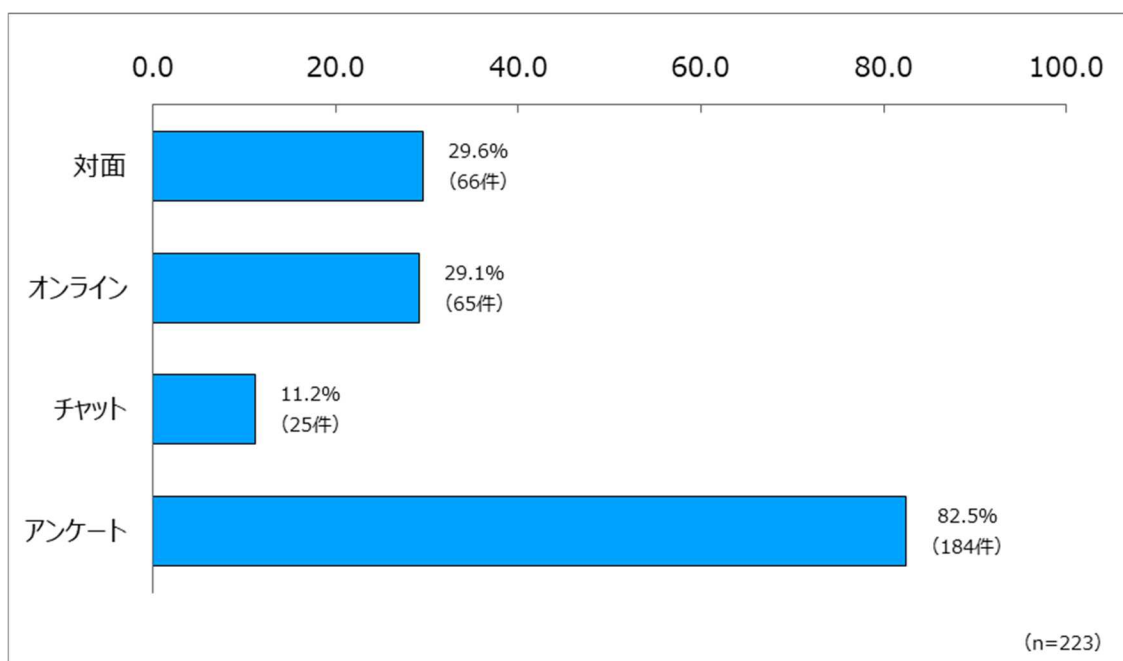
Q6. 今までに「いけんひろば（※）」に参加（さんか）したことがありますか？（単数回答）

（※）対面・オンライン・チャット・アンケートなどでみなさんから意見をさく場のことです。いずれかで参加したことがある場合は「1. ある」を選（えら）んでください。



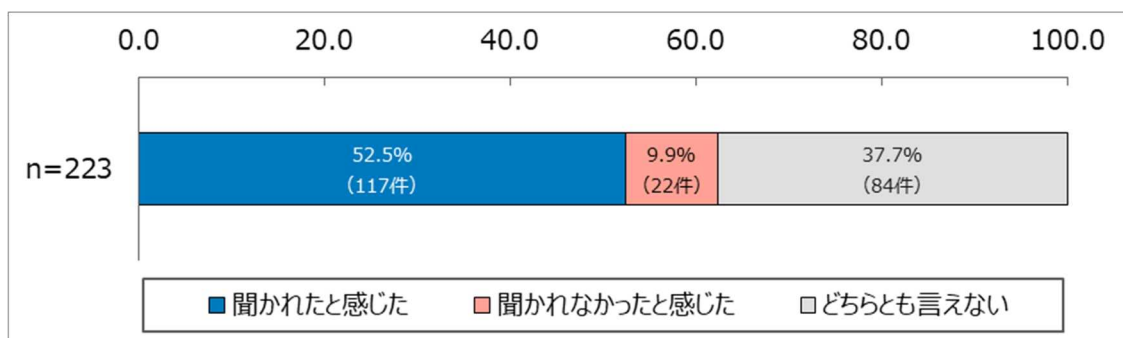
Q7. どの手法（しゅほう）のいけんひろばに参加しましたか？（複数回答）

（Q6で「ある」を選んだ人のみ回答）



Q8. 「いけんひろば」において、あなたの意見が聞かれたと感じましたか？（単数回答）

（Q6で「ある」を選んだ人のみ回答）



Q9. （Q8の回答について）そう答えたのはどうしてですか。（自由記述）

（Q6で「ある」を選んだ人のみ回答）

Q8で「聞かれたと感じた」を選んだ人の回答

- オンラインで話を伝えることができ、正しい議事録が残っていたため
- オンラインの時には個別グループの最後に全員の意見をおさらいする時間があり、そこで自分の意見もしっかり議事録に詳しく載っている事を確認できるから。
- 意見が議事録として記載されていたから
- 記録されていたから
- 議事録を読むと、自分の意見を含めた議論の流れをきちんと可視化できていると思うから
- 後日の意見まとめにしっかりと反映されていたから。自分の意見に関連してファシリテーターの方が話を進めてくださったから。
- オンラインのいけんひろばに参加した際、話に詰まってしまってもゆっくり待っていただけたからです。その後の意見集約された pdf に自分の意見がしっかり入っていて安心しました。
- まとまった意見がホームページに載せられた際、自分の意見も入っていたから。
- まとめた書類に意見が反映されていたから。
- まとめに入っていたから
- まとめ等で取り上げられていたから
- 事後まとめられた意見に自分の意見が記載されていることを確認したため
- 対面での実施の後、意見をまとめたものを送ってくださったり私たちの意見を聞くために多くの工夫をしてくださっているから。
- 相手の方や省庁の方が意見にたいして返答して頂いたり、後で送って下さったいけんひろばの意見をまとめたシートにかかれていたから。
- 「こども若者★いけんぷらす」から『いけんひろばの「報告資料」がこども家庭庁のホームページで公開された』とメールを頂き、アクセスした方に参加者の意見を知ってもらえると感じたから。

- 最終資料に自分の発言が載っていたから。
- 後に送られてくる発言に記載されていたから。
- 報告書として後日纏められていたから
- 報告書に載っていたから
- 自分が言った意見が反映されていたから
- 自分の意見がレポートに載っていたから(だそうです)
- 実際に子どもの居場所のアンケートにおいて、私の意見を取り上げて頂いたため。
- 実際に対面で、話をきちんとして書面として反映されていた事。
- オンラインのいけんひろばでは、できるだけ参加者に発言してもらえるように司会がうまく進行していたから。
- ファシリテーターが何度も話を振ってくれたから
- ファシリテーターが共感してくれたメモ係がいた
- ファシリテーターが丁寧に質問し、伝えた意見を合っているかどうか言い換えて確認してくれたため。
- ファシリテーターさんが上手にまとめてくれて、ほかのみんなが同感してくれたから
- ファシリテーターの人が話を振ってくれたから
- ファシリテーターの方が順番に聞いてくれたから
- ファシリテーターの方が上手に進め、きちんと書記の方もいらっしやったから。
- ファシリテーターの方が上手に話を回して下さって、意見を言いやすい雰囲気を作って下さって
- チャットでの回で、自分の意見に対してファシリテーターやメンバーが反応してくれたため。
- グループ LINE (LINE@) の文字での会話でファシリテーターの方も上手に一人一人の意見に傾聴し、話題提供をくださっていたから。
- 司会の方が指名してくれた
- 私の発表した意見を受けて、ファシリテーターの方がコメントや表情、動作など何かしらの形で反応を示してくださったため。意見や話を聞いていただけたと感じた。
- 進行役が均等に話を振ってくれたと感じたため
- しっかりと全員に話を振って書き取ってもらえたから
- メモをとる人がいるから。
- よくメモをしてくれたり共感してくれたから
- いけんひろばの職員などの人が意見に対して質問とかをしてくれたから
- いろんな質問をされたから
- オンラインで職員の方と話して意見を言えたから。
- 係の方が話をしっかり聞いていたと感じたからです。
- 職員の方に丁寧に聞き取ってもらえたから。
- この意見についてどうですか？などと聞かれた事があったから。意見を言う時があったから
- 一応みんなが発言する場があったから
- 各質問ごとに必ず、聞いてくれていて思ったことを率直に言える環境だったから。

- きちんと聞いてくれたから
- よく話を聞いてくれたから
- 話しやすい雰囲気だったから
- 話を聞いてくれた
- 一人ひとり丁寧に話を聞いてくれていた
- 意見が通りやすい雰囲気だったから
- みんなが私の意見をしっかり聞いてくれていたから。大人の方達も決して意見を否定せず聞いてくれたから。
- 私の発言に対しては、発言中に遮られたり否定されたりということがなかったから。
- 対面参加の時に全体の空気感が和やかだったのと、ファシリテーターの方が自然な形で相槌を打って聞いてくれたことが理由です
- 参加している大人が我々の意見を1つの「意見」として大人の意見と同じように取り扱ってくれようとしているから。
- みんながうなずいたりしてくれただから
- みんなが頷いてくれてたから
- 目を見て話を聞いてくれた、話題に乗ってくれた
- 応答してくれたから
- 私以外の子供たちやこども家庭庁の方が反応してくれたからです。
- 意見に対するフィードバックをもらったため
- 自分の意見について他の人から質問されたりしたため。
- 自分の話したことから話を広げてもらえた
- 対面でもオンラインでも、自分が意見を出すと共感してもらえたり、逆にここは違うのではないかなどと出した意見をもとに話し合いを進めていくことが多かったからです。また、定期的に送られてくる報告書まとめを見ると私の出した意見と似たような考えが載っていたりするからです。
- 自分の考えと似た意見があったため。
- いっぱい話せたから。
- きちんと意見を伝えられたから。
- 自分の意見をしっかり言えたから
- 自分の意見を言う機会が多くあったから。
- 自分の考えに基づいて回答したから。
- 自分でも意見を発信出来ると思った
- 挙手したのを取り上げてもらったから
- イジメにあったときの話を聞いてくれたから。
- いけんひろばに参加されていた、いけんぶらすのメンバーやファシリテーターとの間で議論を深めてきたから。
- 討論の形として成り立っていたから

- 特にチャットでは、特定的话题について深く議論することができたから。
- 国の施策に反映されたので
- 三姉妹教育費がかかることをアンケートにかいたら3人以上いると大学費補助出るようになったので。非常に有り難いです
- 私は三姉妹で子ども3人以上は大学費用の援助がもらえることになったので。
- 実際に政策に盛り込まれてたから
- アンケートには自由記述欄があることで、自分の意見を発信している実感があつた。
- アンケート回答を読んでくれていると思っているから。
- どんな町にしたいかのアンケートで伝えたいことが回答できたから
- 自由記述欄があつて、選択肢以外の回答をできたからです
- 選択肢を選ぶことや自由記載の欄があるから
- 2日間にかけて色々なテーマをもとにチャットベースで話し合える環境が整備されていたため。
- 皆であつて意見を出し合つたから
- 対面に参加したから
- 少人数のグループで行うことで自分の意見を言う機会が多かつたから。
- 対面で聞かれたから
- 対面で話をした
- オンラインで意見は伝えたが、伝えただけのものになっている。フィードバックなどなく、ただ意見を聞くだけの会だつた。

Q8で「聞かれなかつたと感じた」を選んだ人の回答

- ありきたりの質問が多く、実際、反映されていると感じにくい
- 意見まとめに意見を載せて貰えなかつた
- 採用されたことがなかつたから
- 自分の意見が反映されてるように思えないため。政策も良くなつていない
- 政策に反映されていないから
- 特に変わったと感じなかつたからです
- 年少扶養控除復活についてはさらつと受け流されてしまつた。ある政党の政権公約に明記されていたのにも関わらず、約束は果たされないまま。復活させない理由に納得がいかない。
- 発表された大綱の内容から。
- 反映が分からない
- 意見する機会がなかつた。
- 対面は地方に住んでいる自分にとっては対象外で、赴くことのできる人だけの意見に限られてしまふ。オンラインは時間の制限がかかり社会人には難しい。自分は対象外であり意見が反映されないとがっかりすることがあつたから
- スタッフに受け入れようという気持ちがなかつたから

- そもそもこちらの回答をどう活かしているのか全く分からない
- なんとなく
- 回答したあとのフィードバックがあるのかよく分からない
- 聞かれたのかがよくわからなかったから。
- どう答えたらよいか解らなかった
- 自分の意見を子ども若者白書に取り入れてもらえたから。

Q8で「どちらとも言えない」を選んだ人の回答

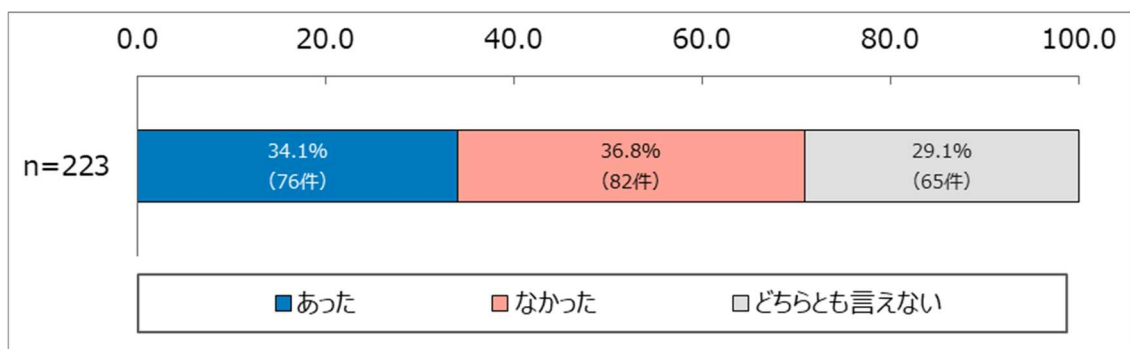
- 意見を反映されたと感じる事がなかったから。
- 最近アンケートに回答したため、どこまで反映されているかがわからない。
- 自分の意見がどのように反映されているかわからないから。
- 自分の意見がどの様に扱われたのか、解らない。又、双方向性をあまり感じられない。
- 自分の意見が通っているか不明であるため
- 自分の意見が反映されたかどうかはわからないから
- 自分の意見が直接反映されているとは実感できないから。時間はかかるが、ひとつひとつの意見に返信があったらもっと良くなると思う
- 自分の意見がどのように反映されたのかわからないから。
- 自分がアンケートで送った意見の処理が不透明である為
- 意見は伝えたが、実際に受け止められたのかは分からなかったから。
- アンケートなどの結果を知らないから。答えたアンケートの結果がどうなったかは知らないから。公表されているのかもわからないから。
- その後どうなったのか分からないから
- どう反映されたか、確認していないから
- 確認ができていないため分からない
- 意見が反映されたかどうか確認できていないから
- 意見が反映されたことが分かるような機会や、それがまとまったデータを見たことがないから。また、個人の意見はあまり大きな組織において反映されないとと思っているから。
- 結果がわからないから
- アンケートで提出した意見がどこに反映されているのかが分かりづらいから。また、いけん広場のメールを毎回必ずチェック出来ておらず、(アンケート内容やメールの内容、pdf等全てに目を通せていない)結果的に自分の意見が反映してあるかどうかを知る術がないから。
- まだ、自分の意見が反映されている内容等のものをたくさん見ることが出来ていないから。今後対面のイベントに参加するので期待している。
- 反映された実績例が検索しづかったから
- 報告書がないため
- 変わったなと思うことが特にないから

- 意見が反映された政策などがまだ施行されていないから
- どの程度自分の意見が政策などに反映されたかわからないから。
- 意見としては書かれているけれど、自分の周りの環境は変わっていないから。
- 自分の意見が政策にまだ反映されていないと思うから
- 社会に反映されているかわからないから。
- 意見が反映されるまでに時間がかかると思うから。
- (痴漢のポスターの質問だったと思う) 痴漢に関してはあまり関心のある内容のアンケートでは無かったのと、数日前なものもあった、選択肢や自由記述の回答も少なく、既にできているものを微調整するくらいのアンケートに感じた
- アンケートだけでは個人の考えをおくれたとは思えなかったため。
- アンケートだとその反応は返ってこないから。
- アンケートでしか参加できてないので
- アンケートでしか答えていないため
- アンケートで自分が考えることは言ったから、意見は届いたと思うけど、「聞かれた」感じはしなかったから。
- アンケートに答えただけで、誰かに直接意見を伝えていないので、反応が良くわからない。
- アンケートに答えただけで特に実感がないから
- アンケートの都合上、すぐに結果を感じられないから
- アンケート回答のみで直接話を聞かれてはないから
- 意見というのは Yes、NO だけでは無いのに、2 択しかない、私の全ての情熱を注いだ回答は聞かれていないと感じたため。
- 相手からは何も返事がなかったから
- その後の具体的な返答や参考になった事など大人からの意見の表明があまり感じられなかった。こどもからの意見を言うのもそうだけど、大人とこどもで一緒にやっっていくおどもの関係を作ってきたい。大人からの意見や返答ももっと聞きたいと思ったから。
- 「私の意見」が反映されたものはあまりなかったが、後日意見としてまとまったものをメールで見たときに、自分の考えよりもっと深く考えられた意見や「確かにそうだな」と思うものが多く、それらが本当に反映されたのであれば、自分の意見に近いものやさらに良いものが形になったのだなと思ったから。
- うまく意図が伝わってない感じや、細かいニュアンスが書記する際に変わっている感じがあったため。
- そこは、皆様で決める物なので、後ろで見届けと思いたい気持ちでございます。
- その件についての問題意識の方向が異なっていると感じたから。
- ファシリテーターの自分にとっての良し悪しによっていいにくいと感じることがあるから
- ファシリテーターの方自身が話しすぎて、自分の意見を言う時間が少なかったが、発言に関しては深めることができたと感じることが多かったから。

- ネット環境が悪く発言が反映されなかった 時間がなく言いたいことをまとめたが送信できずに終わってしまった
- 意見が聞かれたと感じることの定義がよくわからないから
- 何と回答したか覚えていないから。
- 意見ひろばは1度で終わってしまうので、学校のように後で質問に行くことや、次回への準備ができないからです。意見広場では同年代の意見を聞くことができ、視野を広げることができます。お茶をしながら、普段話すような時間もあればいいと思います。
- 子供の意見を尊重する場で大人が司会していることに矛盾を感じる。意見を否定するしないをルールにしてもディベートなのだから自由に意見を交わし合うことを大事にするべき。世の中賛否両論ばかりなのに否定しないをルールにされても発言しにくい。発言して欲しいと子供家庭庁は思っていないのか？
- 私は、あまり意見がないので
- 同じ意見出してる人他にも居そうな施策が多い子供食堂とか「確かに大事だけど本来はそこまで困る子供が出ない様に民間では無く行政が何とかしなきゃいけないんじゃないですか？」みたいな施策中心にも見えるので…いやまあそれがすぐ出来たら苦労しないんでしょうけど…
- 抽象的に記載したため。
- よくわからないから
- わからないから
- 自分が疑問に思っていることを発言できなかった気がするから。

Q10. 「いけんひろば」に参加する前と後で、「意見を言う」ことについて気持ちに変化がありましたか？
(単数回答)

(Q6で「ある」を選んだ人のみ回答)



Q11. どのような変化があったか、具体的に教えてください。

(Q6で「ある」&Q10で「あった」を選んだ人のみ回答)

- これから、積極的に意見を言っていきたいと思うようになった
- 以前は考えを察してくれるだろう、大人が何とかしてくれるだろうと思っていました。意見は言わなければ人に伝わらない事、皆で意見を出すことでより良い新たな考えが生まれると感じた。話せてスッキリした。いけんひろばや行政以外にも聴いてくれる大人が増えたら嬉しい。
- 以前は自分の意見なんて聞いてもらえるわけがない、自分の意見で何かが変わるわけがないというネガティブな気持ちが大きく、思っても言わないことが多かったのですが、いけんひろばに参加するようになって自分の意見はごく小さいものかもしれないが「気持ちを積極的に伝える」ということに意味があるのではないかと意見発信に前向きな気持ちを持つようになりました。
- 今までではニュースを見て、社会の出来事について考えることがあっても、選挙以外でそれを伝える場がなかった。しかし、アンケートによって自分の声を政策に反映させられる可能性があると感じ、さらに政治に関心が高まってもっと意見を世の中に発信したいと思うようになった。
- 意見をしっかりと伝える事を大切にしたいと思った。積極的に自分からの発言の回数を増やせるようにしたいと思った。
- 意見を言う、持てることは素晴らしいことで、どんどん発言していくべきなのだと思います。
- 意見を言うことは良いことであるということを実感できた
- 社会が若者の考えを汲み取ろうとしていることに気づいた。意見を言える場では積極的に発言しようと思うようになった。
- 普通の大学生の私でも、行動して子ども若者いけんぶらすに申し込むことで、貴重な機会をいただいて意見を主張することができて、自分の考えをもっと自信を持って発信しようと思えた。
- 社会の一員として、しっかりと自分の考えに責任を持つべきことを自覚した。また、自分が意見を言っても良いことが嬉しかった。
- あれから参加してみて 自分に自信がついた
- 意見を言えたということが伝えることへの自信につながった気がした。
- ほかの方が積極的に意見を言っていたので、自分の意見を言う抵抗がなくなった。
- 意見を言うことへのハードルが小さくなった気がする。
- 意見を発信することへの抵抗感がなくなった。
- 意見が言いやすくなった
- 自分の意見を言うことでその意見が賛成されるだけでなく、その意見を別の意見に組み込んでより良い案が出るということが実際に体験することができ、自分の中で完璧になっていない意見でも他の方に言うことによって良い案になるかもしれないと思い、自分の意見を言うことに抵抗がなくなりました。
- 初対面の人でも、少しずつ話せるようになった。
- 「自分の得意分野でなくても意見を言って良いのだ」という考えに変わりました。

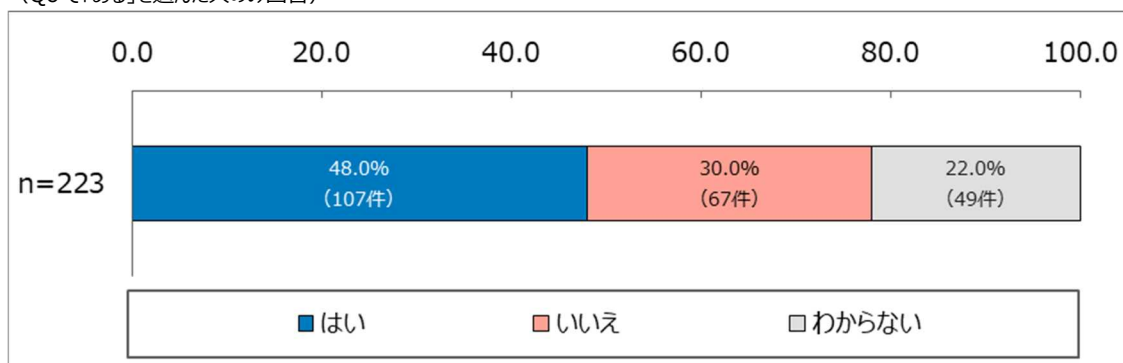
- これまで、意見を出すうえで、子ども同士の会話ではたくさん意見を言える自信があったけど、大人も混じった意見交換の場では「こども」という立場だしと思って謙遜してしまう事がありました。でも、この前参加した子ども大綱の対面の話し合いで、私の班の書記の方が「いつか、立場など関係なく大人でも子どもでも意見を言いやすい環境になればいいな」と言っていて、「大人の人が子どもという立場の意見の言いづらさを理解してくれているんだな」と実感して自信が持てたからです。
- 自分の意見はどんなものでもすぐには否定されず、言うのに恐れる必要は全くないと思うようになった。
- 自分の意見をハッキリ伝えることができるようになって、「意見を言う」ことへの抵抗感が薄れたから
- 前よりも自分の意見を積極的に言えるようになった。
- 対面式に参加しましたが、みんなが意見を言うのに圧倒されたけれど、言ってみようという気持ちが生まれた
- こども若者の意見を聞かれることが必要だと思いつつ、「意見を言うことは難しいことで、できない人もいる」といった思いもありました。ですが、環境調整や機会の増加、聞き手の工夫で「難しいこと」ではない、話す人のスキルを選ぶことのない行為なんだなと思直しました。
- 意見が言いやすい環境が作られており、リラックスして意見を言えた
- 学校だと意見に対する正解不正解があるから怖いけど、なんとなくみんなわかってくれるから意見を言うことに対する抵抗感が学校より少なかった
- 最初はちゃんと発言できるか不安だったけど、書記の方やチームにいた方がサポートしてくれたから、気持ちが楽になった。
- 自分の意見を言い、相手の意見を聞くことで、人の価値観を受け入れ、自分もまた、受け入れてもらえる安心感を感じた。意見を言い、それを聞いてもらえることの楽しさが広まればいいなと思った
- 普段周りの人には言いにくいことでも、「いけんひろば」でなら自分の考えを表明できるので、気持ちが楽になった。
- 話せて良かったから。
- 自分の言ったことを聞いてもらえて言ってよかったと思った。
- 楽しく感じた
- 意見を誰に伝えればいいのか分からなかったのが、しっかり伝える場があったため
- 意見を聞いてくれるという場が設けられているのなら、その場を有効活用することが必要だと感じた。
- たくさんの人が集まった中で自分の意見をじっくりときちんと聞いてくれることはあまりないから。
- 「子供でも、政治について考えを述べてもいいんだ…」「自分の考えが政治に生かされるかもしれないんだ」と少し驚きました。
- 参加する前は、このような機会は形だけで、意見を聞いてもらえないだろうと思っていた。参加してフィードバックがあったことで、意見を言うことに意味があると感じられるようになった。

- 子どもの意見がきちんと反映されていることが実感できた。しかし、学校では、なかなか子どもの意見が通用しない事が、とてももどかしい気持ちです。
- 子ども家庭庁に意見を少しでも言えている感じがした！
- 私たち子供でも意見を言えるという環境があるのがすごくありがたくて、大人だけで決めてるわけじゃない。っていうのを実感してとても嬉しい気持ちです。
- 伝えたことが本当に政治に反映するのだなあっと実感したので。
- 自分も社会のために参加できていると感じた事
- 投票行動以外でも自分の意見を国策に反映することができると感じた。
- 自分がすこしでもよりよいとこにできると思った
- 自分の意見が届いているという実感を得ることができた。
- 発言したり、アンケートに回答することで自分が頭で考えてることを文章化し、自分自身どこに不満を持っていたのか、どんなことを望んでいるのか理解できた。社会に対して何かしらアクションを起こせると思える。
- 意見を言うということはやはり質問の内容について深く考える時間が増えたから。
- どちらでもいいではなく、どちらか選ぶ必要があると改めて気づいた
- 違う人の意見を否定までいなくても自分の考えを上乗せしたい時などの言い方までしっかり考えるようになったから。
- 自分にはなかった視点からの意見というものが多数聞けて、自分にはなかった考えが多くあり、自分の意見も交えて考えることができた
- 自分の教育に対する意見とは異なる立場からの意見を聞いて社会全体が求めているものは何なのかということを考えるようになった。
- 社会の様々な問題に改めて考えることができたから。自分がどう考えているかを知ることができた。
- LINE でのやり取りで全国の様々な職業（学生・社会人）の方のお話を聞いて、思っていた以上に手軽で堅苦しくなく、より身近な存在に感じられた。
- 自分の考えだけでなく他の人の考えも取り入れる大切さを感じた
- やっぱり知らない人の前だと難しいと思った。
- 外から考えることと実際に参加して意見を言うのでは重みが近い発言が難しかった。
- 結局若年層が国に対して意見を言うことは無駄であり、特に聞く気も無いことがよくわかった
- 意見を言っても意味ないので感じた
- いけんひろばで自分が発表した意見に対して、興味深そうな反応や共感を示していただくと、次の意見発表がより気軽に言いやすくなる。また、「もっと意見を言いたい」とモチベーションも上がり、積極的に意見を表明しやすくなる。
- イジメの話ができて良かった。
- グループディスカッションをおこなう場面に参加したときに思い出した

- そうですね～、もうすぐ創設から1年にはなりますが、これから、発展していくので、2023年4月から2024年3月までは、まだ、成長段階なので、私としても、少し若干の意見の反映になったとは、思います……（笑）
- 具体的なアンケートには答えたことがなかったから変化がありました
- 自分は年齢の割に何も考えてない楽観的なんだなあと少し寂しく感じた
- 少しでも日本をよくしたい思いがあったから
- 親に大学3人入れるのは経済的に厳しいということを常々言われてきた。その事をアンケートでも伝えたら施策として実行されたので
- 答えかたが複雑にかんじてなんかめんどくさくなってきた。

Q12. あなたが参加した「いけんひろば」のフィードバック資料（しりょう）を1つでも受け取りましたか？
（単数回答）

（Q6で「ある」を選んだ人のみ回答）

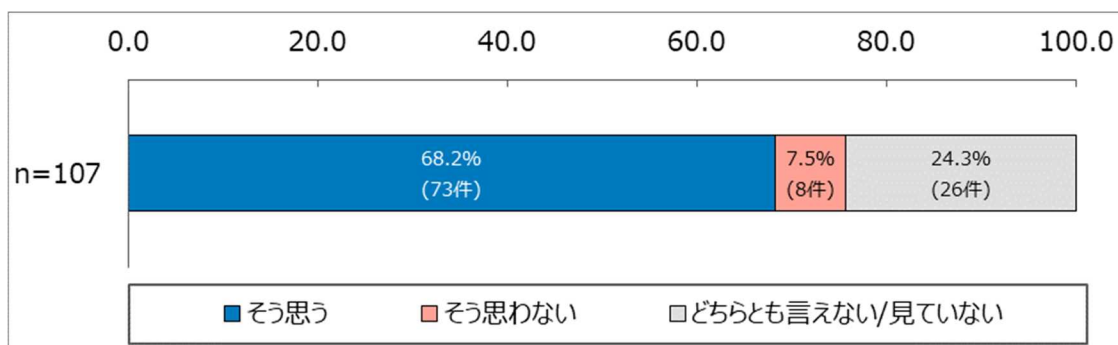


（※）このアンケートを実施した時点でフィードバックまで終了（しゅうりょう）していたいけんひろば一覧（いちらん）

- あなたが思う「居場所（いばしょ）」は？（7/31 開催（かいさい））
- 小学校に入るまでを振り返って楽しかったこと、もっと大人にして欲しかったこと（8/1～8/15 開催）
- 若者と食の今後について考える！（8/2・3 開催）
- 農水省（のうすいしょう）へ行ってみよう！（8/24 開催）
- こども向けホームページについて（10/9 開催）
- 『こども大綱（たいこう）』『こどもまんなか社会』をいっしょに考えよう（10/20～23 開催）

Q13. フィードバック資料をみて、自分の意見が反映（はんえい）されたと思いましたか。また、反映されなかった場合でもフィードバックがされたと思いましたか。（単数回答）

（Q6で「ある」とQ12で「はい」を選んだ人のみ回答）



Q14. （Q13の回答について）そう答えたのはどうしてですか。（自由記述）

（Q6で「ある」とQ12で「はい」を選んだ人のみ回答）

Q13で「そう思う」を選んだ人の回答

- しっかりと、自分の意見も含めて班で出た内容全てをまとめてもらえてたから。
- フィードバック資料に意見が書いてあったから。
- フィードバック資料に自分の言ったこと(又は言ったことに近い内容)が書いてあったからです。
- 意見が載っていたため
- 意見が書いてあったから
- 意見が尊重されたと感じたから
- 自分がいったこと、みんなでまとめたことが書いてあったから
- 自分が言ったことがそのまま書かれていたから
- 自分が言った意見が記されていたから。
- 自分たちの班で出た意見がしっかり書かれていたから。
- 自分の意見が載っていたから。
- 自分の意見が資料（フィードバック資料）に載っていると、大人の会議で話し合わせようだから。
- 自分の意見が資料に書かれていたから
- 自分の意見が書かれていたから。
- 自分の意見が反映されたから
- 自分の意見について聞かれて、それについて話し合うことが出来たから。
- 自分の意見もしっかり記載されていたから
- 自分の意見を確認できるから
- 自分の言った意見が反映されていた

- 自分の話がのってたから。(2件)
- 自分の話したことが書かれていたから。
- 実際に言ったことがほぼそのまま書いてあったから
- 実際に参加したのもあったし、資料に自分の考えと似ているものが掲載されていたこともあったから。
- 発言が確かに記録されていたから。
- 発言内容が正確に反映されていたから。
- 反映された文が載っていたからです。
- 僕が言った意見がのってた 以上
- 話し合いの内容が取り入れられていたから
- 話し合った記憶が書かれていたから
- ホームページに載っていたから
- しっかり書かれていたから。
- 全部書き起こしてあったから、フィードバックされたと思いました。ただ、チャットの回については、複数の議論が同時進行していたことで混線していたやり取りが、そのまま発信の時系列順に並べられていたので、これをその場にいなかった誰かが読んでも何の話かわからないんじゃないかなと思いました。返信機能を活用しているものだけでも、会話の内容ごとに分けてもらえたらいいなと思いました。
- 似ていたから
- 自分が言っていたようなものが載っていたから。
- メンバーから来た様々な意見がきちんと網羅されてわかりやすく整理してまとめられ、反映されていてもなくても、「自分がこれに協力したんだ」という達成感があった。また、「どうして反映できなかったのか」ということがほとんど明確に伝えられていて、納得することができたと思ったから。
- 意見が反映されない場合にも、なぜ反映されないのかや、その事柄についての考え・方針などのフィードバックがもらえた。
- 一人一人の意見をひとつひとつ丁寧にまとめてくださっていたのを拝見したから。
- こども大綱など、自分と重なる意見がどのように反映されたのか、反映できなかったのか知ることができた
- 私たち子ども・若者の意見を集約した上で大人たちが考えてくれたことが伝わったから。
- 「こども若者★いけんぶらす」事務局から発言をまとめた資料をメールしてもらい、訂正や意見の取り消しについて確認してもらえたから。いけんひろばで伝えそびれた事は次回伝えればよいと思える位、しっかり聞いてもらえている。
- そう感じたところがあったから
- ちゃんと参加していたから
- 自分に自信がついたこと
- 積極的に発言出来たこと

- オンラインでもしっかり質問時間があったり、色々な人への配慮が感じられたから
- 一応腑に落ちる部分はあったので

Q13 で「そう思わない」を選んだ人の回答

- あまり自分が思っている意見が反映されていないと感じた。若者が関心を示すような議題が少ない。LGBTQ+や発達障害、若者の生きづらさなどに関心があり、そのことについて意見を言いたかったのだが、それらのログを探したが無かった。それらのテーマがまだ議論されていないと感じた。また、アンケートいけんひろばの参加資格が学生のみに限られているものも多い。年齢制限があると様々な意見が反映されないのではないか。
- いじめ問題についてのフィードバックがない。あんなにたくさんの方がいじめについて意見を伝えたのに。
- そもそも抜本的な思想の変更を求める意見を送りましたが、既定路線で決められていました。考え直した形跡すらないと感じています。近年の政府の動き全般を鑑みても、意見を受け付けはしたかもしれませんが、反映する気は最初からないのだと思っています。
- 一部の偏った意見にばかり目を向けられていたと感じたから。
- 抽象的かつ他人の意見と同意見と判断したため。
- 文章を見る限り出来レースな感じがした。

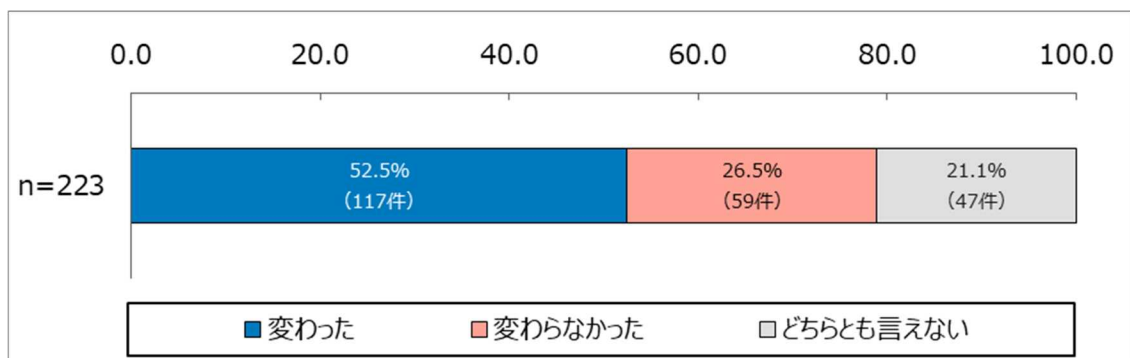
Q13 で「どちらとも言えない/見ていない」を選んだ人の回答

- これから見てみます。
- ちゃんと見てないので
- 学校のことで忙しく見るができなかった
- 時間がなく 確認出来ていません。すみません。
- 資料が多くて見る気になれなかったからちゃんと見れてない
- 長文のメールが、定期的に大量に届くため、いけんひろば自体の案内すら見逃してしまいそうになる。そのため、添付されたフィードバック資料の存在に気づきにくく、全てに目を通せない事がある。また、自分が見逃しているのであれば大変申し訳ないが、そもそも送られてくるフィードバック資料自体が少ないように感じる。
- 意見がどう反映されているかまで、具体的に分からない。
- 自分が発言したと思う言葉は前後の文脈がないと、テーマとは違うように感じたから
- 自分の意見がどの様に扱われたのか解らないから。
- いけんひろば実施前にいただいた資料からアップデートされた内容があったので、フィードバックしていただけて参加した意味があったなと思いました。自分が伝えたニュアンスなどと異なっていたり、具体的に記載されていない箇所もあったので明確に自分の意見が反映されたかはわからなかったです。

- 意見がまとめられるのは見ているが、細かなニュアンスの違いなどがあるのもう少し多く挙げてほしいと感じたから。
- 意見はまとめてあるけど、大人からのこの意見に対してこう思うとか全体的にみてこう思ったとか感想とかなにか欲しい
- 会議等で提出された形跡がないため
- 概要版をみても、何を言いたいのかよくわからなかったため。
- 個人の名前が出た訳じゃないから。誰が言った意見かがあまりわからなかった。
- アンケートだけの参加だったため大きな提案などはできなかったから
- 反映範囲の検索が難しかったから
- うーん、たまたま、気になる物と興味などがあれば、ターニングポイントで、積極的に回答致します。

Q15. いけんひろばに参加する前と後では「こども若者★いけんぷらす」への印象（いんしょう）は変わりましたか？（単数回答）

（Q6で「ある」を選んだ人のみ回答）



Q16. （Q15の回答について）そう答えたのはどうしてですか。（自由記述）

（Q6で「ある」を選んだ人のみ回答）

Q15で「変わった」を選んだ人の回答

- アットホームな雰囲気でも意見を話しやすかったので、いい場所だと思った。
- あまり固くなく自由に話せたため。
- スラスラ話せなくても参加して大丈夫だと思ったから。サイレントマジョリティはどのくらい参加しているのか気になる。
- もっと会議的なものだと思っていたが全然かっちりしたものでは無く自分の意見を気軽に言えた。
- もっと堅苦しかったり、疲れたりするかと思っていました。柔らかい印象で、自然体で話したいことを話しました。

- やっぱりお偉いさんいて、みんなスーツでみたいなよくある政治家みたいな現場を想像してたけど、みんなラフな感じで私がやってる子供会議みたいな雰囲気の色んな年齢層がいて面白いと思ったから
- とても和やかな雰囲気のところだとした
- どんな雰囲気かわからなかったが、みんなと意見をやさしく言い合えたから
- 寄り添ってくれている感じがしてよかった
- 結構堅いイメージだったのが意外とそうでもなかった
- 最初は関係省庁の担当者との意見交換する雰囲気が固いイメージがあったから。
- 思ったよりもラフで話しやすい環境だった。
- 思っていたよりも簡単に参加できたから。どんな意見でも言って良くて、安心するから。
- 思っていたよりも気軽に答えることができた。
- 思っていたより気軽に意見を言える環境だったから
- わりと気軽に参加できるから
- だれでも簡単に参加できることが分かったから。
- なんとなく堅苦しいイメージがあったが、思った以上に手軽に意見交換も出来て、身近なものに感じたから。
- アンケートだけでなく、チャットやオンラインミーティング、対面など多様な方法で、こども若者が意見をいやすい環境が作られているため。以前参加していた内閣府のユース政策モニター等と比べると、とても参加して意見を述べやすいため、「こども若者★いけんぷらす」だけでなく、政府の意見募集事業に対するイメージも変わった。
- 実際に若者なら誰でも登録でき意見が言えることがわかったから
- 声を届けられる場所が遠いものだと思っていたけれど、意外と簡単に届けられることを知れたから。また、政策に関わるとなるとちゃんとした意見を持たなければ、と気負いがちだが、自分が答えられる範囲の参加でよく、後で取り消すこともできることも知れたから。もっと多くの人に「こども若者★いけんぷらす」の存在を知ってもらわないといけないと思う。
- 対面だけでなく、アンケートでも気軽に参加できるからです
- 対面だけでなくオンラインやアンケート形式の参加もでき、思ったより気軽に参加できると感じた。
- 誰でも意見が言えるわけではないと思っていたから
- こまめにアンケートが送られてきて、「ちゃんと私(たち)の意見が求められている」と感じることができた。また、フィードバックが送られてくることで「しっかり考えてくれたんだな」と思えて嬉しかった。
- ちゃんと子どもの意見を聞こうとしているんだと思った
- 形だけではなく意見を聞いてもらえたため。
- 結構本格的に意見を聞いてくれるんだなあと思った
- 広く子どもの意見を集めていることがとても実感できたから。
- 国主催の子ども若者の声を聞くという取り組みは、なんとなく胡散臭いというか、どこまで本気なのかよくわからなかったが、実際に参加してみると本気度をひしひしと感じたため。

- 参加する前は自分の意見なんて真面目に受け止めてもらえないと感じていた。
- 参加前に想像していたよりこちらの意見を聞いてくれたと思った。同時にフィードバックまではその実感を得られたが、それ以降の工程についてどの程度意見が通されたかは不透明であり、全体としてこの意見プラスの効力は分からないと感じている
- 子ども若者の色々な年代のひとからの意見をしっかり聞こうとしていた為
- 子育てに関する政策だけについて意見を募るのかと思っていたが、それだけでなくこどもを取り巻くさまざまなものに関してこども自身の意見を聞くものだという風に印象が変わった。
- 子供の意見を聞こうとしてくれていた
- 参加した、対面での意見が、きちんと反映されていた事で、子どもの意見を聞いてくれていると思った。
- 意見を言い換えて都合の良いようにするのではなく、実際とほぼ同じような言葉で書いてあったからここは違うと感じたから
- 議事録としてはしっかりと今までの政府の書類やより本音が書かれていたから
- 思ったよりも活動が活発で、しかも自分の意見が本当に国の方針に反映されてマジでビックリしたから。居場所に関するやつは特に感じました。
- 私たちの意見も反映してくれるんだと感じたから。
- 私の話をきいてくれた。
- 私は子供家庭庁に実際に言ってお話を聞いていただいた経験があるから印象が変わりました
- 思ったよりはしっかりと子どものことについて考えてくれているんだろうなと感じたから。
- 僕たちの意見をこんなに聞いてくれたから。
- 本当に子供の意見を聞いてくれるんだなと思った。
- 名前だけではなく 実際にこどもや若者の意見に耳を傾けているから。
- 政府は国民の意見を聞いてくれないと感じることが多々あったため、「いけんぷらす」に対してもあまり期待していなかった。しかし、若者や子どもの意見を聞こうとしていることが実感できたから。
- 前は意見を言うだけかと思っていたが、僕たちの意見が反映されそうって思ったから
- 結構取り組みが多かったから。
- 思っていたよりも沢山参加できる場面が多かった。
- 思っていたより意見を伝えられる機会が多かった。
- 思っていたより活動がたくさんあったから
- 思っていた以上に活動しており、自分の意見を伝えられる珍しい機会だと感じたから。
- 実際にいけんひろばに参加すると、意見を話すことが多く、発話できる機会が多かったから
- 積極的に意見を言えたこと 今までは意見を言えなかった
- いろいろな人と意見を言い合える場所ができたから(だそうです)
- いろいろな人が参加していて、どの人も優しくかったから。

- オンラインで顔を出して話をする際に、自分と同じくらいの方と話しているはずなのに自分よりも深く考えて凄く良い意見を出されていて、いけんぷらすのメンバーの方は自分が想像していたよりもとても考えが深い方がたくさんいらっしゃるのだなと感じたからです。
- まだ発足したばかりの子ども家庭庁ははじめ、どんなことを行っているのか、意見+メンバーに入ったらどんなことができるのかわかりませんでした。しかし、実際に農林水産省に行ったり、子ども家庭庁内で意見交換をしたりと、様々な経験をする事ができ、同じチームの仲間たちも考えや意見の内容のレベルが高くて、いい刺激となったからです。
- みんなが意見を言い合っていたから
- メンバーの意見交換が活発だったため、想像よりも意識の高いメンバーが集まっていると感じました。
- 周りの意見を実際に聞くことができ勉強になった様々なテーマを幅広く取り上げており、いけんひろばの参加者の年齢層もかなり広いので意見を吸収するにはとてもよいと感じたから。
- いけんひろばは勝手なイメージで官僚がやっているからお堅そうと思っていたが、柔らかい雰囲気の方々と接することが出来たから。
- スタッフが優しかった
- 以前までは国の省庁ということもあり、堅いイメージでしたが、参加させて頂いたら自由に意見を言う事ができ、また、職員さんの笑顔も多かったので以前に抱いていたイメージはなくなったから
- 国の人って堅苦しいイメージがあったけれどいつもメールをととても明るく書いてくださったりで面白い人もたくさんいるし本当にこども・若者のことを考えてよくしようとしてくださっているというのが分かったから。
- 機関としての役割からより身近のものとなった。
- 内閣府に属しているし国の機関だからもっと堅いかと思っていたけど、そんなイメージを抱かない雰囲気だったから。
- 自分が参加することで、意見広場が遠いものだという認識が誤りであるということに気づいたため。
- ひらがなクイズとか楽しかったから
- たのしかったから
- 楽しくなったから
- 面白かった
- 様々なテーマについて、自分で考え意見を出していく過程は楽しいと感じている
- こども若者★いけんぷらすがやっていることは今すごく大事なことをやっていると思ったから。
- いろいろな活動をしていることを知れたから。
- 意見を発信できる場が対面でも増えたため。
- 工夫されて、どんどん良いものになっているから
- 考えるきっかけが出来たから
- 自分がぷらすメンバーに参加しているという実感がわいた。
- なんか、難しいないようだから。

- あまりわからなかったから
- 今動いてる施策的に保守系の「理想的家族」像的なからまだ抜け出し切れず無い感じはある
まゝマンパワーとか大人の事情があるのは分かりますし親子関係が良好かつ困難な状態に対して
サポートが可能ならばむやみに引き離すべきでは無いとは思いますがサポートからすり抜けてる
方々が現に居る以上、外部から見えない所で詰んで家庭環境等が修復不能になってる方々の
逃げ道を増やすのも大事な(児相等現場の方は頑張ってると思うんでマンパワー増強とか警
察等との連携しやすさや待遇改善とかやって欲しい)
- 最初はいい印象があったが、なにをしているのかよくわからないので少し悪くなった。いけんひろばの
目的がよくわからない
- 子供のことを考えてやっていると思ったけど、進めていくとほぼデザインのことしか聞かれなかったから
- 思ったよりアンケートなど大変だし、対面のイベントなどにも参加したいけど全てテストなどにかぶって
参加できなかったから
- 若年層の意見を吸い上げるという名目に惹かれたが、現役世代が本当にどうにかして欲しいこと
(経済、少子化対策)については触れず、非常にどうでもいいお題についてしか聞かれなため
印象が極めて悪くなった。
- やはり、少しずつ変わりましたが、やはり、先ほども申し上げましたが、まだまだ、発展の途中なの
で、これから成長していくと思います。
- 駅などでこども家庭庁の広告を見ると意識する
- 参加してみることで、どんなところか知れたから
- 大人と話し合うと思っていたから

Q15で「変わらなかった」を選んだ人の回答

- 「若者の意見をきいてくれる」という想像で参加してみたら、きちんと自分の意見が反映されていた
から。
- 参加者の意見を汲もうとする姿勢を評価している。基本的なことがきちんとできていると思うため、
こちらが想定していた期待に応えられており、印象はそのままで変わっていない。
- 名前の通り若者の意見をしっかり聞いてくれていると感じたから。
- いい制度だという思いが今のところ変わっていないから
- 元々のイメージと同じように、参加者の意見をしっかりと聞いてくれたから
- もともと意見を聞いてくれると思っていたから。
- 元々参加を希望していて、想定していたから
- 初めから良い印象があったからです。
- ユースラウンドテーブルに参加していたため雰囲気や想像がついていた
- いけんひろばでみんなと話すのは楽しい
- 「こども若者★いけんぐらす」で得られた意見が社会の生活に役立っていると感ぜられないから。

- アンケートを答えるのが中心で地方の人や高校生にとって参加しづらい時期や時間が多かったから
- こう言った活動をしているのを知っている人がそもそも少数でかつ参加している人もすくないから
- 家庭庁から来るメール以外でこの取り組みを目にすることがなかったから。
- どこまでこの活動に影響力があるのかわからないままだから。
- 意見として、採用されているのか不明なため。
- 映像も見にくいし、何を言ってるかがわからないから、楽しくなくなった
- 結論ありきと感じてしまった。どの部分に国民の声が反映されているのか見える化されるとより良い取り組みになると思う。
- 大人の都合の悪いことはあまり聞く印象ではなかった。
- 準備してくれている方との距離を感じます。距離があるのは当たり前ですが、とても親切なので嬉しいですが、意見を言う場では、いつもとは違うよそ行きの自分のままだったように思ったからです。
- 話が難しい時があったから。
- あまり発表を見れていない
- いけんぷらすについて、あまり知らないから
- ニュース等で見ていた感覚と変わらなかった
- まだあまり活動に参加できていないため
- 自分の想定通りだったから。
- 最近登録したので
- 説明どおりだった
- 前をよく知らないから
- 対面のいけんひろばに参加して思った
- 大方、想像通りであるため
- フィードバック時に意見が結構まとめられすぎてるように感じたので、どれくらい意見が届くのか100%の期待では無かったので予想していたくらいの量だったから。

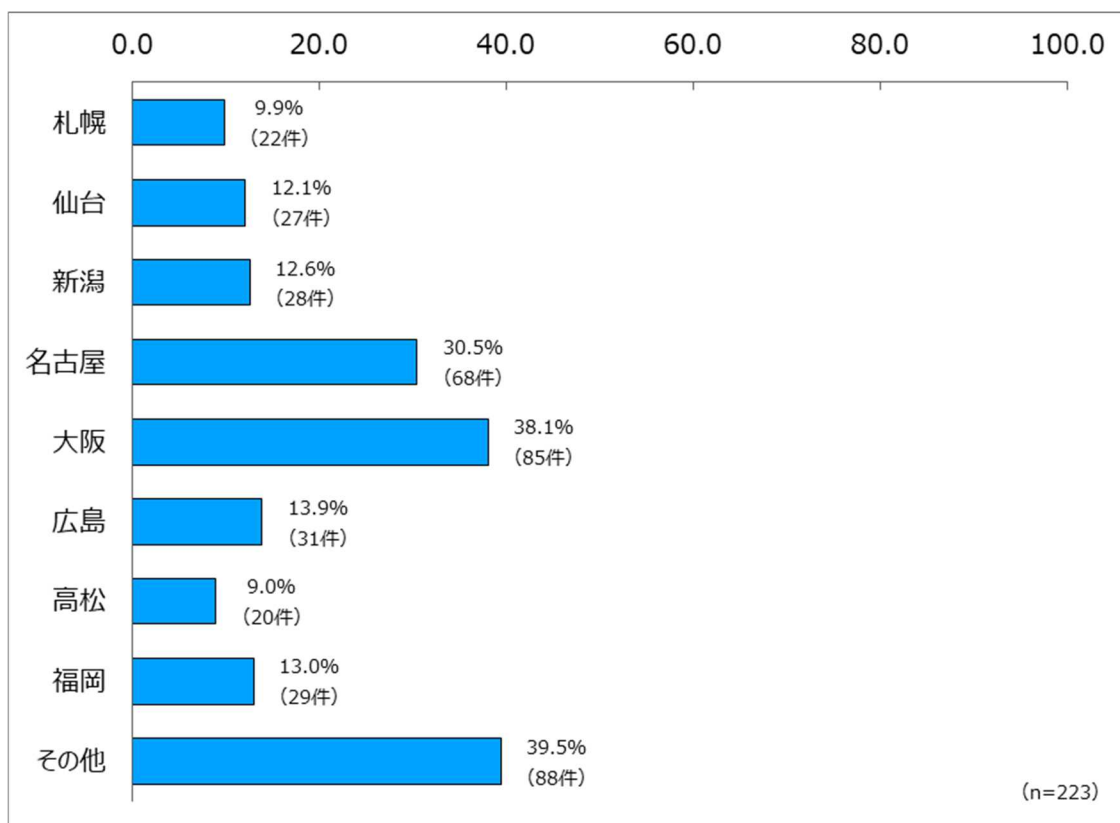
Q15で「どちらとも言えない」を選んだ人の回答

- あまりいみわかんないのもあるので
- なんかわからない
- よくわからない
- 印象がぼんやりとしかなかったので、変わったとも変わらなかったとも言い難い。すべてに参加できたわけでもないの、いまも「こども若者★いけんぷらす」についてぼんやりとしか分かっていない。
- どう反映されたか具体的に分からず判断がつかない。
- とくにかわったことが思いつかないから
- 意見を言っただけだから。

- 意見を集めているだけで何か変わったという実感が無い。
- まだ政策に反映されていないから
- 自分がそういう系に参加していないのかもしれませんが、何か政策において意見を反映してもらうようなものがないと感じました。
- 内容自体はとても良かったが 本当にも実績として変わっていくのかもやもやしているため。
- 参加してる感覚がつかみにくかったから
- 実感が無い
- アンケートしか参加していないため
- アンケートだけなので参加した感覚があまりない。
- あまりイメージがないまま参加したから。
- いけんぷらすという取り組みを知らなかったから。
- 参加する前の印象の記憶がない為
- 知らないままに参加したから
- 意見広場に参加する前の印象を覚えていないから。
- もう少し大胆に報道した方が良かったと感じた
- 自分のイメージと実際参加したイメージが半々だったから。
- 一応は若者の意見を活かすつもりも、育成するつもりもあるのだと思っていましたが、あまりにもお粗末なシステムとやる気のなさを前に、やっぱり形だけだったと思いました。もっとも、元々期待はしていなかったのも元に戻っただけのことです。
- 良くも悪くも大人はまとめられるし、かと言って積極性がある人がこんな回に参加するとはあまり思えず…想像通りだな、というところ。もっと THE リーダー！ トップ！ 仕事できます！ みたいな人がほしい

Q17. 今後、いけんひろば（対面）を東京以外でも開催（かいさい）したいと思っています。開催するにあたって、どこなら参加しやすいですか。（複数回答）

（Q6で「ある」を選んだ人のみ回答）



Q17. 「その他」の内容

- 東京（10件）
- 東京都が良いです。
- 東京在住なので他の人の内容を反映してください
- 東京在住なので、東京以外は参加しづらいです。
- 東京以外ない
- 東京は参加しやすい。神奈川も近いのでいきやすい
- 東京に住んでいる者は当てはまる場所はなく、必須回答とすべきでない。
- 東京なので、関東圏なら。
- 東京で良い
- 東京だと近いので助かります
- 東京が参加しやすい。
- 東京が最も行きやすい
- 東京が一番良い

- 東京がいいです。
- 神奈川県か東京都
- 神奈川（6件）
- 横浜（5件）
- 神奈川県綾瀬市
- 横浜・さいたま
- 埼玉、神奈川、千葉
- 埼玉、横浜、千葉
- 埼玉
- 埼玉県坂戸市・埼玉県川越市・埼玉県鶴ヶ島市・埼玉県東松山市・埼玉県毛呂山町
- 千葉県
- 高崎
- 栃木（2件）
- 都民なので関東
- 関東の中
- 関東
- 山形
- 愛知
- 静岡や浜松
- 長野県（2件）
- 長野、金沢
- 石川
- 金沢（2件）
- 富山（2件）
- 京都府（7件）
- 京都、岐阜
- 兵庫県(神戸市)
- 地元（奈良県）であれば参加したい
- 山口 下関か北九州
- 愛媛、岡山
- 岡山、山口、愛媛、横浜
- 熊本（2件）
- 宮崎
- 沖縄県（5件）
- 可能ならば、各都道府県で実施してもらいたい

- 最寄りが一番参加しやすいのは勿論なのですが、全県でやるわけにはいかないのであれば、交通の便が良い場所がいいです。会場も駅前が嬉しいです。（九州地域なら、どの県からでもどの交通手段でも福岡が一番参加しやすいと思います。）
- 場所がどこであろうと参加したいです！
- なし（2件）
- 無い
- 特になし
- 引っ越しの可能性があるため回答できない。

Q18. どうなればもっと「いけんひろば」に参加したいと思えますか。（自由記述）

（Q6で「ある」を選んだ人のみ回答）

- 「いけんひろば」で集められた意見がどのように政策に反映されるのか、詳細なプロセスが可視化されれば、「いけんひろば」に参加する意義を見出すことができ、もっと参加者が増えると思う。また、採用されない意見もあって当然だと思うが、その採用基準も明確に示してもらい、分かりやすくチラシみたいな感じでまとめてもらえれば見やすいのではないかな。
- こんな意見をもらって、こう反映しました！という実際にやったかどうか分かるものをひとつも見せてほしい 全部後日だし開示できませんだし協力してる感がない
- ここが意見広場から出た意見で反映されました。とわかりやすくなったら
- 多くの意見が反映されたら
- 意見をきちんと反映させる力がなければ、参加しても意味がないと思ってしまう。
- 実際に子供意見ひろばの意見が政策に反映されたらもっといいと思う
- 認知度をあげる。皆の意見が反映されることを知ってもらう。
- 話し合いが苦手だからアンケートをもっと増やしてほしい。どのように意見が反映されたのかをもっと示してほしい。
- もっと良くなるような変化が見える
- 意見がどのように伝わるのかを言う、参加したことへのメリットを伝える
- 意見が反映されていることが感じられる。子育てしやすいように政策が変化する。現状は、扶養控除復活、拡大してほしいとみんな言っているのに正反対の政策なので、あまり気乗りがしない
- テーマを充実させてほしい。今のテーマだと回答出来る人間に限られていることもあり、意見が集まりにくいテーマもある。未就学児のこどもから若者世代まで幅広く意見を聞いてほしい。
- メンバーが関心のあるテーマの「いけんひろば」を開催すれば良いと思う
- もっといろいろなテーマを取り入れる
- 意見の言いやすいテーマ（自身に身近な）が絞られている。
- 色々なテーマの意見広場を開催するなど
- 幅広いテーマを取扱う

- 身近なところで分かりやすい議題
- 自分の議論したい話題も伝えられるようになり、話し合えるようになったらと思う。
- ニュースになるような話題を話し合えるタイミングがある。
- ひとのいけんをよんでから問題を聞いたり、なんの問題を出すかも聞いたら良い
- もっと大人に都合の悪いことを聞くべき（大人にとって都合の良いことは大人だけでも出ると思うため）
- 研究のように1つのことを1回だけではなく、繰り返し行う。年齢に近い話題のアンケートにする。どのような社会だと子どもを育てやすいのかよりも、私が住んでいる街は人口減少が激しいです。多くの人は楽しめる場所がないと思っています。子どもが住んでいて楽しい。この街がすきと思える場所にするために、全国で違うサービスのいいところ悪いところを話題にして、都市の改善につながるものをしてほしい。今の身近な、子どもの学習環境などの地域格差を話題にしてほしい。結婚や子どもの話題は、その年代の人にまずは聞いてほしいです。
- アンケートは「若年層ごときに回答を任せても構わないどうでもいい質問」しか来ないし、オンラインや対面は「生活に直接関係の無い重要度が非常に低いお題」しか来ないため参加する気が起きない。現役世代が本当に思っていることを吸い上げられるものが来ない限り参加したくない。
- もっと民間に寄り添うべきだと思います。来るアンケート等は基本的に大学進学が当たり前だったり今であれば裕福な方が考えた夢だなという認識です。あと身分の確認もかなり手間だと思います。常に受け付ける形であるべきだと思います。
- もっと簡単なアンケートだったら参加しやすい
- 内容が簡単で参加人数がかなりいるのなら
- 難しい質問を分かりやすくしてくれるといいと思う
- 簡単になる
- イメージのわかりやすい資料などを増やすこと
- 内容だけを聞くのではなく、これを投稿するとどうゆう効果があるかを伝えて欲しい・もう少し小さい子供も分かるようにつくってほしい・政策を分かりやすく子供に伝えて欲しい
- 答えやすく、かんたんな内容にしてほしい
- 日程、時間帯の選択肢を増やし 一回あたりの募集人数がより多ければ参加したいと思う。
- 遠方からの参加なので、もう少し早く予定が決まると嬉しいなと思います。1ヶ月前には決定していると助かります
- 対面・オンライン開催のいけんひろばが行われる日に自分の予定が入っていない
- 予定が合わないので、参加できない。
- 夏休みなど長期の休みの時でちかければ参加したい
- 自分の参加出来る時間にオンラインや対面が開催されると、もっと参加しやすいのにとおもいます。授業が終わり、家に着くのが早くて18時頃なので。
- 場所が近くなる、時間の変更

- 場所も聞いたら希望の時間帯も聞くのでは？参加する人の立場になって考えて欲しい。それかこういうアンケートで募集すべき
- 時間帯が週末ならば可能です。
- 自分にとって身近である問題であること。開催場所や日付が困難なものにならないか。
- もっと回数を増やしてほしいです
- 頻繁に開催して欲しい
- 意見聴取、交換の場の増加。色々な内容や場所を設けることにより、各人がこの意見なら発言しやすい、この場なら言えるというものを増やしていくこと。
- 同じ学校や塾のひとといっしょに参加できたらいい。
- 同年代同士で色々な意見交換をしたい。
- 回数を増やす。参加できる人数を増やす。
- 障害者のみなさんと参加したい
- 人数制限が少ない
- 友人と参加できたら、緊張せず積極的になれると思う。連名で応募できるよう、参加可能な人数を増やせるようにしてほしい。
- 社会人層がもっと参加対象になっていると参加しやすいです。
- 年代・学年ごとに分けて、意見を提示する企画があれば、参加したい。
- 年齢制限を出来ればなくしてほしい。30代以上の親世代の意見も取り入れられるようになってほしい。
- 歳の近い人が参加するってわかっていれば。
- 地方でも開催
- 東京がどうしても中心になってしまっているのが都道府県で意見広場を開催したりするといいと思う
- 「いけんひろば」の対面実施をより多くの地域で増やすこと。
- いけんひろば（対面）を東京以外でも開催して頂けると参加しやすいと思いました。
- もっと対面の参加人数を増やしてほしいです。
- 対面で行う際に東京だけだと大学もあるしバイトもあるので気軽に行くことができない。気軽に行けるようにしてほしい。
- 対面の地方開催
- 開催場所が近い
- 開催場所が増える事、メンバー間での交流があればより活発化されると思います。
- 開催場所を増やして開催場所から遠くの人でも気軽に行けるようにしたり、土曜日だけでなく日曜日にも開催して行きやすいようにすれば良いと思います。
- 開催地が近い
- いろんな場所で開催する。「いけんひろば」だけでなく、みんなが参加して、話し合えるフェスみたいなのがあればいいと思う
- もっと積極的に地方にいる若者にも参加を呼びかけるべき。

- もっといろんなところ(田舎など)で開催する
- 子供に人気のコンテンツとのコラボ・ダーツの旅みたいにランダムで学校(特別支援学校や小児病棟、少年院等未成年中心の入所施設も含む)出張広場を開く(先生等いつも居る大人に聞かれたくない話も相談出来る様な配慮は要る)
- 対面を増やす、年齢関係なく色々な人が集まる場を設ける、社会的養護を受けた人限定の場をつくりディスカッションする
- 対面をふやしてほしい
- できるだけ対面開催も増やせるといいと思う。参加したという実感が湧きやすくなるし、もっと参加したいと思えるかもしれない。
- 交通費や参加費が出れば行ける範囲で参加してみたい
- 遠くの人でも参加しやすいよう、Q17 のようになるべく日本中で開催するようにする。また、(難しいかもしれないが)会場までの交通費の助成があれば行きやすくなると思う。
- 地方住みなので、電車代金の補助などがあれば行きやすい
- オンラインのイベントや、定員を増やす
- オンラインやアンケートの方が、参加しやすいです。
- オンラインを増やす
- オンライン参加で、耳だけ参加や、発言がチャットだけでも OK だったら参加しやすい。
- オンラインで参加する際、ビデオをオンにする必要があるかどうか先に決めてあると助かります
- 参加しやすい場所(対面)完全カメラオフのオンライン会議(自分はもう抵抗はないが、実質カメラオン必須の空気になるオンライン会議は最初に参加するにはハードルが高い、次以降不参加となると感じたため)
- 自分が住んでる場所に近いところやオンラインでいけんひろばが開催したら参加したいと思います。また、参加する子供たちが多いと行きやすいと思います。
- 対面よりもアンケートを積極的にやってくれたら参加しやすい。
- 自分の時間で参加できるもの(アンケートなど)を増やすと良いと思う
- アンケートのもの、チャットのものをもっと増やして、いつでも気軽に参加できるようにしたら良いと思う。
- アンケートをぜひもっと増やしてほしいです。
- 1 回のアンケートの質問の数を減らす
- チャットのいけんひろばが、予定を拘束されず参加しやすかったため参加したい。アンケートはもう少し 1 つの量が少ないか、途中でも送信できると参加したくなる。
- チャットの会場を増やすなどがあれば参加しやすいかもしれません
- チャット開催が場所にとらわれず参加しやすかったので、継続してほしいです。
- 休日を使つてのチャット回や、19:00 以降のオンライン回が参加しやすかったです。アンケートも簡単なのですが、見逃しがちなのでメールの冒頭や件名などでわかりやすくして欲しいです。LINE などはやらないのでしょうか。

- イベントの周知と参加者数の規模の拡大
- メンバーを各地方の応援広報隊になってもらい、多くの人に存在を周知することで参加者も増えると思う。
- ①開催場所を増やしたりオンラインの場が増える②子ども若者がいく施設に広告をだす③テレビ SNS 発信④ラジオ体操のヤクルトのように参加した証をつくる
- もっと意見広場に対しての知名度を高くして、様々な人が参加できるような仕方にする。例) 知名度を高くする・学校で子ども家庭庁を紹介する・広告を作る (CM など) ・多くの人が参加する・バリアフリー、ユニバーサルデザインを活用する・参加の方法をいくつか分ける
- もっと社会にもアピールして周りの人も参加しやすいようになったら積極的に参加しやすくなると思います。
- 現在の若者は政治に対して受動的であり、能動的に情報を見つけて参加することをしない。だからそう言った人にも目に映るような形で広告を出すことや受動的な人が能動的な行動を打つような教育があれば参加すると思う人が増えると思う。
- 小学校で知ってもらおうようにする
- これらの活動をもっと世間の人に知ってほしい
- LINE や Instagram といった手軽なメディアによる情報発信
- 思ったこと、感じたことを意見交換する場所だと皆に分かってもらう。
- 私たちの意見を職員さんが真剣に読んでいるところがみられたら。
- 子どもの権利を知らない大人達がまだまだ多すぎると感じる。18 歳未満までの子ども達の意見をしっかりと聞いてくれる大人が増え、この意見ひろばを活用出来る事を知らせてほしい。そうすれば、たくさん子ども達が自分達の意見を聞いてもらう事が出来る場所として、友達にも話をする機会が増えてくると思う。
- 対面やオンラインでのいけんひろばがどのような雰囲気で行われているか不透明なのが現状なので、実際にどのような様子なのかプライバシーに最大限配慮した形で知れると参加しやすくなると思う。
- いけんひろば (対面、オンライン) の様子の動画や配信があるとわかりやすい
- いけんひろばの様子をもっと知りたい
- SNS (Twitter など) や CM でどんな意見ひろばが開かれてどんな意見が出たのかを紹介できる範囲で紹介がされたり、その意見が提出された先での話し合いの指摘なども私達に返ってきたりしてもらえると、自分たちの話し合いがこの中だけで終わってないんだなと感じられる。
- YouTube ショートや YouTube で結果がすぐみれるとか
- 対面だけで開かれる「いけんひろば」もあるため、対面・オンラインの併用がもっと進むと良いと思う。また、こども家庭庁のこども用の HP が変わったように、いけんひろばの案内をよりわかりやすく行う HP もあれば、より参加しやすくなる (情報を見逃しにくくなる) と思う。
- 今までメールでの参加・応募依頼が多いが気が付かないので、公式ラインを作りさまざまな入り口の導線を作っていけると参加しやすいと思う人が増えてくるかと思っています。

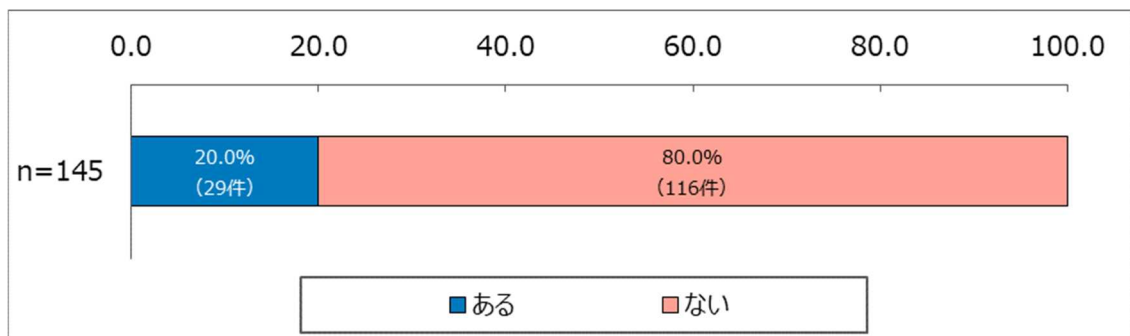
- メール以外でも見やすくなる。友達同士でグループ参加できる。
- メール単体だけでなくポータルサイトの様な所で纏めて対面やオンラインでの参加表明、またはこういったアンケートへの回答が一瞥出来ると便利に感じるので参加頻度は高くなると思います。
- もっといけんひろばを通した活動に利便性が上がればより参加したいと思う。具体的にはアンケートの回答からフィードバック資料の閲覧、対面でのいけんひろばのレポートなどを一括して同じサイトやアプリなどでできるととてもありがたい。
- Google メール以外での意見募集のお知らせがあればいいと思います。ラインや Twitter、インスタグラムなどの若者が使いやすいツールがあればもっと広まる可能性があるから。
- 「ひろば」という名前なので、恒常的なプラットフォームのひとつでも置いたらどうかと思います。参加している意識もあまり持ってません。それと、登録の手続きに時間がかかりすぎますし、いつから参加になったのかもイマイチよく分かりませんでした。年齢確認が終わる前からイベント案内が来て、自分が参加可能なのかも不明でした。登録後も自分の登録がきちんとされているかどうか確認する手段が届いたメール一通しかなく、これまでに回答したテーマの一覧も見られません。結局のところ何かの拍子に都合の悪い人間は「実は間違いだった」「エラーで受け付けていなかった」などと言って意見どころか存在ごとになかったことにされるのだらうと思っています。あとから入った人はこれまでにどんなテーマが行われたのかも知ることができません。「いけんひろば」としての一貫性や持続性がユーザー側に一切ありません。さらに、テーマは常に上から与えられ、本当に自由な意見を述べる機会もありません。テーマ立てや日常で思ったことも自由に言える場があってはじめて、本当に必要な声を拾えるのではありませんか。参加者の年齢を考えると、このシステムでは問題なく参加継続できる子どもは限られ、ごく特権的な層の意見しか拾えないと思います。
- 意見の足りないところを補う為に他者との相互的な交流の場を設ける
- 参加前に他の参加者の自己紹介がほしい。ニックネームと好きな食べ物程度でいいので、人間味がほんのちよびり分かると安心しやすい。
- 事前に参加する人同士で顔合わせがあると、当日緊張しなくてすむかと思う。
- 私はテーマについて話し合うことを目的として参加させていただきましたが、話し合いが終わった後の人とのつながりの部分（同じグループだった人のことを知る場、その意見ひろばを主催した人の中で積極的な活動をしている人とのかわりの場）がもっと大切にされると良いと思いました。全体として強制的にそのような時間を取って欲しいわけではなく、話し合いが終わった後の関心のある人と話す時間があれば良いと思いました。
- 地域の担当代表として、地域同士のメンバーとのつながりや大人の地域連絡者みたいな方がいて、参加案内が来たら 検討すると思う。
- 子供向けすぎない企画があれば参加したいです。
- 旅を兼ねて参加する
- みんなでもっと遊んだり、交流を深めたい
- 座ってずっと話を聞いたりするだけではなく、みんなと交流したり、遊ぶ時間を作ったら良いかもしれない。

- クイズとか作る
- あまり、時間を要し過ぎない程度に遠い所に行くならば、観光とかちよびりできるくらいの感じがあれば、参加しようと思う。とにかく、話したことに対して色々な人のフィードバックが欲しい
- もう少し長い時間話し合いたい
- 対面での時間をもう少し長くしてほしい。2時間だと足りないので、物足りなさが正直残ってしまうから。
- 宿題もあるし、ゲームもしたいから短い時間の方がいい。
- 短い時間の方が良い。
- みんなの意見が知りたいです
- もっと意見を聞いてもらえたら。本当に困っていることを知ってもらえるのなら。
- 意見をより交換しやすい環境になれば参加しやすいと思います。
- 自由でフリーな意見で、もうちょっとしっとり来るような感じで。
- 双方向性をもっとあると参加意欲が湧く。
- ファシリテーターさんにももう少し意見が言いやすくなるようにしてもらいたい
- 今まで僕は充分だと思いますが、強いて言うなら何か参加証明書が発行されるなど、大学入試に有利になればいいと思います。
- 「すごくたのしいよ！」みたいなキャッチコピーをつけたらよさそう
- 遠い場所などの時親への説明
- まだ開設したばかりなので知名度が低いのもありますし、意見を出すだけで無く実際に何かに携わることのできるものがあれば魅力的なのではないかと思えます。
- 過去に行ったテーマの2回目の実施や、いけんひろば実施後の省庁の担当者の方へのインタビューやアフターケアが必要です。過去に参加した会では、担当者の方の成果物に対して批判が多い結果になり、参加者側が批判をするだけで終わってしまっは、いけんひろばを実施する意味は薄いと考えます。担当者本人からすると、どのように改善すれば良いのか分からないことも多いと思うので、実施後の担当者の感想をインタビュー形式でWEBで配信して感想を募ったり、担当者からラフレベルで良いので改善案をいくつか提案してもらい、良い案のアンケートを取るといったアフターケアを行うと良いと思います。いけんひろばの募集に落ちたりして意見が言えなかった人も多いと思うので、継続的に同じテーマの練り上げを行うことで、1つのテーマに多くの参加者が関わることができ、参加のモチベーションが上がると思います。
- 外国にルーツのある子ども達も参加できるように多言語で募集をする。今通っている日本の公立の学校と海外の学校との学校の違いを聞いて、日本の学校に足りない所を見つけたい。大人は仕事をしたら報酬があるが、いけんひろばに参加する子どもは報酬なしのボランティアで、何故なのか。正しくアンケートに答えたり、いけんひろばに参加したらポイントが貯まり、体験ギフトカタログを作り選べるようにできたらどんな子どもも経験が増えて人生が豊かになると思う。
- 各省の高級官僚、政治家に直接質疑する機会の創出
- 国会議員を招く。

- 楽しい企画だったら、参加したいなあと思います。
- 楽しければ
- 居場所作りや孤独を防ぐ取り組みをしている方々の情報を知れたり、ネットだけでなく、現実場面で弱音を吐ける場所を増やす活動ができれば、もっと参加したいと思う。ボランティアでも。
- 今で十分だと思う。今でも私は参加したいと思う。
- 今のままでも参加したいと思うものはあるので、このまま続けていかれるといいと思う。
- 今のままで十分であると思います
- 今まで通りでいい
- 特になし

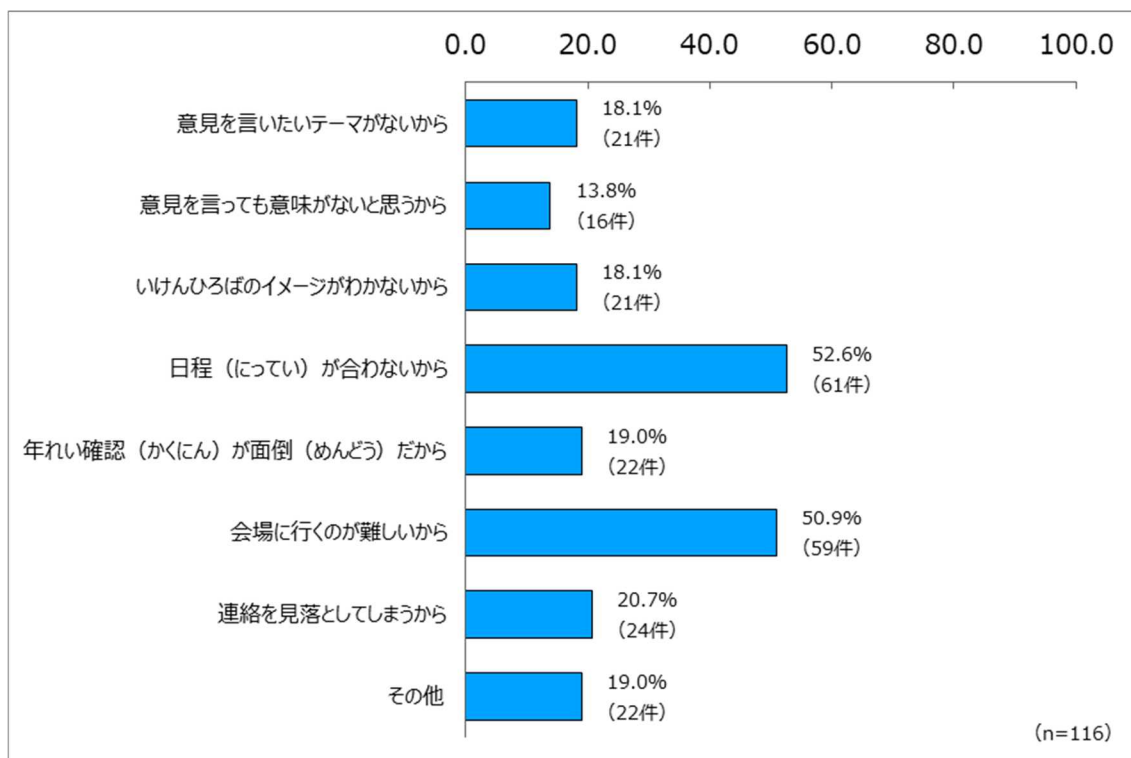
Q19. 今までに「いけんひろば」に応募（おうぼ）したことがありますか？（単数回答）

（Q6で「ない」を選んだ人のみ回答）



Q20. いけんひろばに応募しなかったのはどうしてですか。(複数回答)

(Q6で「ない」& Q19で「ない」を選んだ人のみ回答)



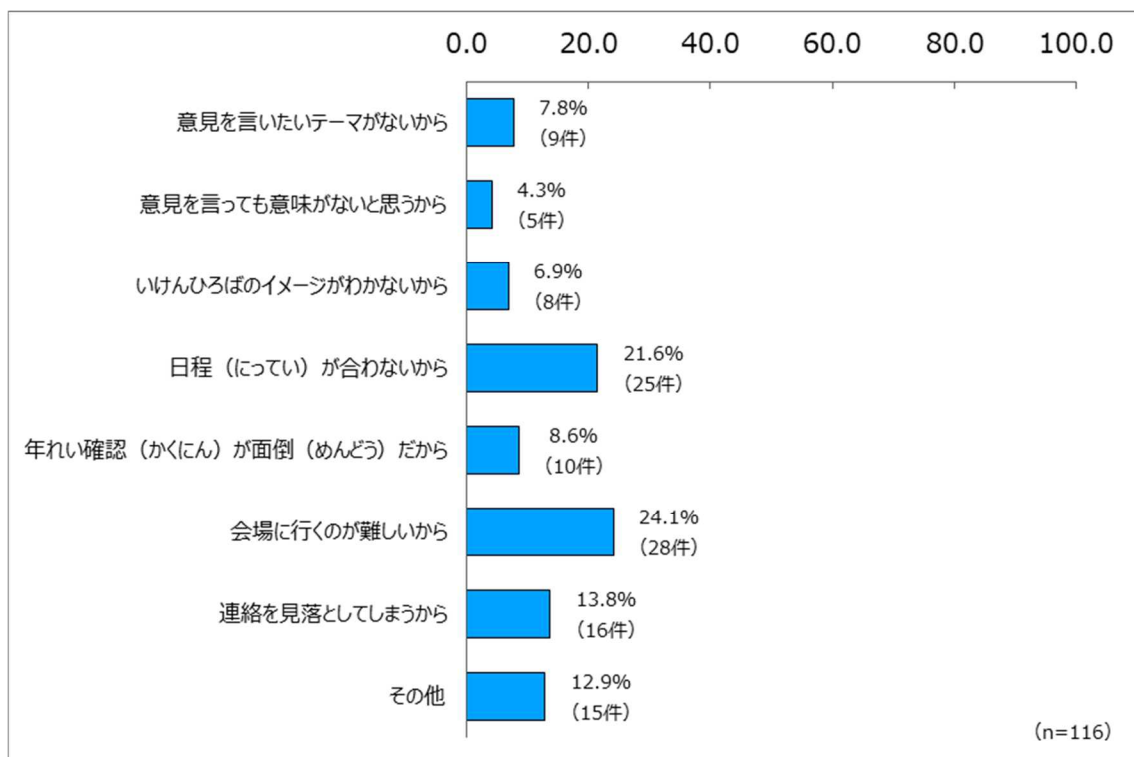
Q20. 「その他」の内容

- 登録が最近で今回が初めてなので。
- 最近登録した為
- 最近メンバー登録したばかりで、いけんひろばの募集がなかったから
- 最近、登録した為
- 今回入ったばかりだから。
- いけんひろばを知らなかった
- いけんひろばにメンバー登録して、最初に答えたものが本アンケートだったため。
- まだ参加して間もないため
- 「いけんひろば」のことを知ったのが最近（1～2ヶ月）で「いけんひろば」はそれまで知らなかったから
- 年齢確認は知らない
- 言いたかった意見があっても年齢が限られていて言えなかったから。
- 個人情報を教えることに抵抗があり年齢確認をしていないから。
- 授業課題の提出など、日々の生活でのタスクの方を優先するから。
- 受験生なのでそれどころではないから。

- 連絡を見ても、忘れてしまうから
- 一人で新しいところ（知らない人がいるところ）に行くことに抵抗を感じてしまう性格のため
- ちょっと面倒だから。また年齢幅が大きく議論になりづらいと思ったから。
- ちょっとこわいから
- しつものいみがわからなかったから。
- 自分の関心が政治に偏ってしまっているため、事柄の性質上、それに関していけんひろばを開催する、というのは厳しそう。
- 自分が直面する内容しか意見が出せません。
- もっと真っ先に行うべき大事なテーマ(年少扶養控除、障害児の家庭含む所得制限、子育て世帯の税負担)をわざと取り扱おうとしないし、中には予算を無駄遣いしているような内容(イベント)もあり、こども家庭庁の活動に意義を見出せないから。

Q21. Q20 で選んだものの中から、「いけんひろば」に応募しなかった理由として最も当てはまるものを1つ教えてください。（単数回答）

（Q6で「ない」& Q19で「ない」を選んだ人のみ回答）



Q21. 「その他」の内容

- 最近登録した為（2件）

- 最近メンバー登録したばかりで、いけんひろばの募集がなかったから
- 登録が最近で今回が初めてなので。
- いけんひろばにメンバー登録して、最初に答えたものが本アンケートだったため。
- 受験生なのでそれどころではないから。
- 今回入ったばかりだから。
- 自分の関心が政治に偏ってしまっているため、事柄の性質上、それに関していけんひろばを開催する、というのは厳しそう。
- もっと真っ先に行うべき大事なテーマ(年少扶養控除、障害児の家庭含む所得制限、子育て世帯の税負担)をわざと取り扱おうとしないし、中には予算を無駄遣いしているような内容(イベント)もあり、こども家庭庁の活動に意義を見出せないから。
- 質問の内容がよくわかりません。
- どんないけんをいけばいいかわからなかった。
- いけんひろばを知らなかった
- ちょっとこわいから
- こども家庭庁自体、利権の塊というもあるし、母親が「待った方がいい」と言ったから
- こども家庭庁の存在意義が無いと思うから

Q22. Q21 で選んだ「いけんひろば」に応募しなかった理由について、どのように改善されれば、「いけんひろば」に応募したくなりますか。(自由記述)

(Q6 で「ない」& Q19 で「ない」を選んだ人のみ回答)

- LINE 公式アカウントでの定期的な告知。
- 公式 LINE
- 今回のようなメールアドレスでやり取りするメールからだけでなく、電話番号で使えるショートメールサービスからや、LINE 公式アカウントからもお知らせしてくれれば
- メールが読みにくい。漢字ありとひらがな分けてほしい
- メールでの連絡だと気づかないので、LINE での連絡の方が気づきやすいと思う。
- いけんひろばで集めた意見をメールしてほしい。あとそれを実現してほしい。広告とかじゃなくて、こどもが大人にやってほしいことをしてほしい。
- 日程とテーマが一致したら参加してみたい。また、イメージが湧きやすいように、それぞれの会の報告書があったらみたい。もし、報告書を見落としているのであれば、もっとわかりやすく報告書を提示して欲しい。
- アンケートだけならやる
- アンケートの中に自由に記述できる項目が追加されたら
- アンケート形式
- オンラインでの参加が可能になったら参加してみたいという興味があります
- オンラインで顔を出したくないので、チャット形式にしてもらえると嬉しい。

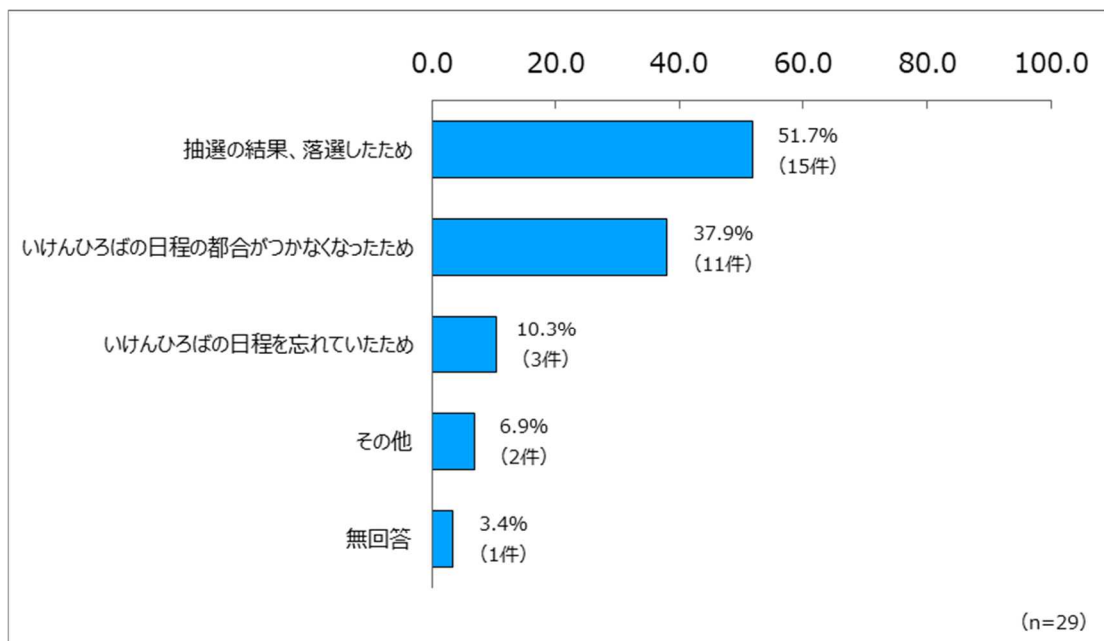
- オンライン開催
- このようにアンケート形式にしたり、リモートで行うものを増やすことで、参加しやすくなると思います。
- 意見を書くのが苦手なので、選択肢があるものだと嬉しいです
- 会場に行ったりオンラインで話すのは、兄弟との兼ね合いなどで難しいので、書面やスマートフォンを通して、文章で意見を伝えられるようにしていただきたい。
- もっと簡単に参加できる方法があれば良いと思う
- 同年代だけで議論ができるタイミングも欲しい。また堅苦しいイメージがあるためもっと気軽に行けるような場所にしていくべきだと思う。
- いろいろな日程で実施
- いけんひろばスタッフの皆さんの勤務時間によって難しいのだと思いますが、土日等に開催していただけると嬉しいです。
- もっと行きやすい場所、行きやすい時間、行きやすい日にちにして欲しいです。学校を休んだり、習い事を休んでまで行くことができないから、土日や祝日、19時以降からとかならもっと行きやすいと思う。また、場所が遠すぎて費用がかかるしそんなところまで行く時間はないから、もっと地方ごとに開催することができたら行ける人は増えると思う。
- 回答者側の日程が合うこと。
- 日程を増やす
- 平日の昼などに開催しても学校に通ってる人が多いと思うので、せめて平日の夕方以降に開催した方が良いと思う。土日は役所はお休みかもしれないけれど、参加人数は多いと思う。
- 夜間(20時～22時)くらいの時間帯の休日のオンラインでの開催
- 長期休みの間に設定してほしい。
- 土日にして欲しい。自分自身が保育園で勤務していると終わりが遅く、参加不可能
- 社会人対象のものは20時以降など仕事をした後に参加出来るものだと参加しやすい。連絡に関しては、メールだと開く時間もなくて見落としやすいのでサイトやアプリがあるとわかりやすい
- 開催する場所を増やす
- 近くであれば行ってみたい
- 近くでやるかアンケート式にする
- 地元でいけんひろばを開催してくれたら、応募したいです。
- 東京だけでなく各地方ごとに集合できるような仕組みを取り入れる
- 東京だけではなく全国でやってほしい。時間の都合も難しいので、何度もたくさん機会があれば参加しやすい。
- 住んでいるところと近いところならば
- 「若者の政治参画を促すには？」みたいなテーマがあると嬉しいが、こども家庭庁は、そういう系の管轄ではなさそう…。

- 子ども目線以外にも大人の子ども時代を想像させるような質問をしていただけるとありがたいです。
- 自分が毎日の生活で、社会と関わり問題に感じたことがテーマになれば応募したいです。具体的には、過ごす時間の長い学校に関して最も意見が多いです。
- 個人情報を入れなくても、意見が反映されれば、応募したい、と思う。
- ①個人情報の提出は任意にしてほしい。個人情報流出する昨今で、簡単なアンケートを答えるために免許証やマイナンバーなどをネット上に提出することに抵抗があった。②対象年齢の拡大。30~40代の親世代にも意見を募った方がよい③調査方法の拡充。学校を通じて子どもの意見を平等に聞いた方がよいと思う。個々人が定期的にメールを確認しなければならない状況は答える人が限られてしまう。
- 最初の登録の際に年齢確認すませてほしい。
- 最低限の個人情報だけで年齢確認が済むようになればよいと思う。
- 年齢確認がなくて、誰でも参加できるようになれば良くなると思う。
- 年齢確認の簡略化
- 年齢確認を、「証明書類をメールで送る」以外で可能にして欲しい。
- テーマがわかりやすくする。
- 小学1年生でもわかりやすいはなし。
- いけんひろばの実際の様子を写真で見たり、いけんひろばで話された内容を知る機会があったりしたら嬉しいです
- モザイクありでも良いので会場の雰囲気が分かる写真も添付していただきたい。
- もう少しかきこまっていない雰囲気だとよいと思う
- より詳しく、現状どのような人が応募しているのかわかると嬉しいです。大学生という身分では浮いてしまわないか、本当にほしい子どもの意見を自分が代表するか、疑問です。応募者の属性にカスケードが起きてしまいそうですが、本当に僕ら世代の声が必要なら、或いは。
- 子連れでも行きやすければ参加できます。
- 大人になれば行けるのですが、まだ中学生なので行くことが難しいです。
- テーマを決めた話し合い以外に、参加者の交流目的のイベントがあれば、参加のハードルが下がると思う
- もっと簡単に。もっと優しく。もっと楽しく。もっとそばで。
- はい
- 次回から応募する予定です
- まだわかりません。
- わからない
- もう少し勉強が必要
- これから気をつけて見ます

- 年齢的には対象だが、募集は学生が多いコンサルではなく企画している国側の人の熱意を感じたら応募したくなると思う
- アウトリーチしてほしい
- カルト的な子供の安全への執着を批判し、Colabo 問題、WBPC 問題を解決し、行政が自己批判すること。
- 無駄な経費を使わずに経済的な支援を明白にしてほしい。もしくは泉さんに組織してもらいたい
- こども家庭庁が子供の出生数の増加を政策の指標としてその増加を目指すこと
- 特になし。

Q23. 参加できなかったのはどうしてですか。(複数回答)

(Q6で「ない」&Q19で「ある」を選んだ人のみ回答)



Q23. 「その他」の内容

- 体調不良のため
- 興味があるテーマであっても、平日で仕事のため。

Q24. 「子ども若者★いけんぐらす」に対する疑問（ぎもん）や意見があれば教えてください。

(例：テーマ設定（せってい）、日程についてなど)

- 「いけんひろば」の開催日時が学校の授業をやっている平日の明るい時間帯に多く自分の予定と重なったりして参加したくても参加しづらい現状があると思います。だから「いけんひろば」の開催日時を平日でも夜の 21 時とか土日等の休日にずらした方が良いと考えます。
- なるべく土日祝など社会人が参加しやすいオンラインをつくる
- 夏休みとか長期休みの時が参加しやすい
- 説明会の日程が平日で部活があると参加しにくい
- 全体的に学生や生徒などが参加できる時間にやって欲しい。13:00 からや 15:00 からだと授業があるので参加できない
- 昼前後が都合が付きやすい。
- 土日にして欲しい
- 土日に開催なら参加出来ます

- 土曜の夕方以降で、前泊後泊の料金が出れば。
- 日時を休日にして欲しいのと、具体的な政策を会議で教えてほしい。
- 日程はどのように決まっているのか？平日だったり休日だったり、様々な日があるから。
- 日程は時間はどうやって決めてるんでしょう？
- 日曜日
- 日曜日開催してほしいです。土曜日は学校があったりしてなかなか参加しにくいので休みの日曜日に開催してほしいです。
- 年齢別にしたり長期休暇の間に開催してほしい！
- 部活でなかなかいけんひろばに参加できない事が多いので、日程を増やしたり、午前・午後の部で別ける等していただきたいです
- 平日の夕方であれば、遅めに 8 時開始ぐらいのほうが仕事や部活がある人に参加してもらいやすいと思う。
- 遠方の大学に通学している人や、働いている大人が参加しやすいような遅い時間帯に、意見ひろばを実施するようにしてほしい。
- 毎月 1 回とかいったかんじの予定がわかるといい
- あらかじめアンケートのテーマを月初めなどに教えていただけると、解答内容を考えておけると思います
- 案内されてから、テーマに対する回答の締め切りまでが短い時がある。またメールが不定期に届いて情報を見逃しやすい。そのため、案内は毎週月曜日に行い、締め切りを 2 週間後に設定するなど、開始と終了の日程・曜日をある程度決められた方が良くと思う。
- 開催日程のお知らせを年間スケジュールとして全体に共有し、具体的な開催内容や日程は 2,3 ヶ月前くらいに教えてほしい。今まで 2,3 週間前に募集メールが届き、そのタイミングだと予定が既に埋まっていることが多いため、参加を見送っていた。担当者の方達も新事業の手探り状態で忙しいと思うが頑張ってほしい。
- 日程をあらかじめ教えてほしいです
- 今後、どんな会議をいつしようと思っているのかが知りたいです！！
- アプリがあると本当に助かります。
- メールだと積極的に目を通そうという気持ちが湧かない。専用アプリ等でわかりやすく情報を得たい。
- メールは普段あまり使わず、他の迷惑メールに埋もれてしまうので、アプリ等の導入も検討してほしい。
- 学校にも仕事にも行っていない人があまり想定されていないように感じる。(最初の質問でそう思った)病気や障害、性別、国籍など、様々なマイノリティへの配慮も足りないと思う。
- 子育てしている親の意見も聞いたほうがいいと思うが、20 代までという年齢設定の目的がよくわからない。こどもだけにいろいろな意見を聞いても、正直政治に意味があると思えない
- 少なくとも高卒から院卒まで様々な生き方をした方がいるべきだと思います。

- 誕生日がきて、当時決まりだった 20 代がおわってしまった。今後の参加はどうしたらいいか？大人目線で介入できるなら協力はしたい。
- 中学生以下はおそらく本人確認書類を自分で持っておらず、「親にお願いする」という工程があり、そのハードルが高いと思う。成人済みでも「いけんひろばに参加している」ということも参加したいということも親に伝えたくない。具体的な方法は分からないがそのハードルを下げられればいいなと考え続けている。
- ①年齢上限をもう少しだけ上げてほしい。乳児を育ててるアドバンテージ層 30 代前半の、子育て中の切実な意見も聞いて欲しい。②メールが長くて読みづらい。何についてのお知らせか分かりづらい。全年齢向けに分かりやすさを考えてメールを送っているのは評価するけど、文章が長くなりがち。長いと年齢上の層はダルくなる。
- こども若者という括りだと、20 代の方は少し参加しにくくなる気がする。選挙権はもっていても、政治に声が届かないと感じているので、20 代や 30 代の大学院や、働き初めて忙しい世代の声がもっと伝わるような場があると嬉しい
- なぜ「いけんひろば」に 30 代の子育て世代が参加できないのか、という疑問がある。子どもの生きやすい世界において、子どもだけでなく親が生きやすいことも重要な要素であると思う。まだ意見を言えない幼児の代弁者としても、これからの子ども達がどのような社会で生きてほしいかを伝えるため、30 代の子育て世代の意見を広く聞くべきであると思う。
- 対面のいけんひろばで一回における募集人数を増やしたいと思います。
- 対面のほうが意見を言いやすい。土曜日に設定してくださるのは嬉しいです。
- 対面のものももっとあった方がいいと思う
- 対面での地域開催は積極的に行ってほしいです。
- 場所は東京ばかりで行けない
- いつもとおい
- もっと話し合ってみたい。ニュースでこども家庭庁ときくと、反応するようになった
- 全然当たらない
- ・意見広場に参加することはとても楽しいので、もっと回数を増やしてほしいです。・海外にも子ども家庭庁のような機関があるなら、外国の子どもたちともオンラインでつなぎ、ディスカッションをしてみたいです。
- ぶらすめんばーの意見を聞くだけでなく、学校や子ども向けの居場所などこども・若者が集まる場所でイベントを開いて意見を募るといった活動もぜひ積極的にやっていただきたいです。
- 学校生活の悩みなどを話し合える場所が欲しい
- 参加して何をするのか分からないため、自分が役に立つのか不安で応募をためらってしまいます。会議の内容が分かるビデオや、流れが分かるページがあると良いと思います。リアル(東京)で参加したいので、募集メールで開催場所が分かるようにしてほしいです。
- 私は障害を持つ子も近くにいるし、学校にいけてない子もいるから、学校にいけてない子や障害を持つ子ともお話ししたい。

- 現在あるのかわからないですが、アンケートの結果（全国の人の結果）を見ることができる仕組みがあるといいと思います
- 全国の生徒会と連携し、全国の子どもたちの意見をまとめてください
- 他の省庁と関連した議題を話し合う会があってもよさそう。
- 震災による困難なことについて能登のこどもたちの意見交換会、本当に困っていることなど
- 意見プラス開催にあたって、受験とか近いと塾の先生とかからそういうのに参加するなって言われちゃうから、参加できなかったものも参加できるように、もう一回やるとか、出てきた意見に対して参加していない人たちが意見を加えたりはなしてみたりとかなにかしらの仕組みがあると嬉しい
- Instagram など若い世代がよく活用している SNS での発信をもう少し増やしても良いのではないかなと思いました。
- SNS をもっと活用した方がいいと思う
- もっと周知活動を行って行く必要があると思う。誰でも気軽に参加できるようになれば意見の数も増えると思う。学校などで、活用していくことも一つの選択肢だと思う。
- メンバーを増やすために、学校にチラシを配って、みんなに知ってもらいたいとおもう
- もっと Youtube 等でやってるところ広めたいのではないかな？ 議員とかも視察に来て生の意見をきいた方がいいのでは？ 事前勉強会と当日で 2 日用意するのが困難なぜ zoom 出ないの？
- チャット形式に関しては、論点を拡げすぎないようにしてもらいたい。
- メール上ではテーマについての意見を募集、というあいまいな表現をしている一方で、アンケート上になると質問の種類が少なく、自由な意見を出しにくく感じるので、自由回答欄を分かりやすく作るなどしてほしい。
- 一部の声の大きい人ではなく、意見を発しにくい立場や状況にいる人の声を拾い上げる努力、工夫してほしい
- 子供・若者の意見だけではどうにも解決できない子供の問題は確実にあるので、その点の考慮をしてほしい。
- 先生みたいに聞き出してくれると聞きやすいと思います。
- 前述しましたが、アンケートを増やしてほしいです。私は社交不安症で、話すのもチャットも怖いため、アンケートなら参加しやすいと思います。
- こども家庭庁が担当省庁としておこなう「こども若者★いけんぶらす」には、フィードバック資料などがあって、最終的にどうなったかを知ることができるが、別の省庁が担当省庁としておこなう「こども若者★いけんぶらす」は、意見を聞くだけという特性上仕方ないかもしれないが、フィードバックがないので、できることならそのようなものがあると嬉しい。今さらながら、ファシリテーターが何者なのかが分からない。小学生とかには意味が分からないと思うので、もう少し噛み砕いた表現だと嬉しい。対面オンライン問わず、せっかく全国からこどもが集まっているのだから、ファシリテーターのみならず、こども家庭庁の職員さんもグループに加わって、みんなでワイワイやったほうが、結果的には中身の濃い議論になるんじゃないかなと思った。(あくまで自分は、おとながいたとしても意見はしっかり出せる)

- アンケートのテーマや内容が難しい
- テーマ設定
- テーマ設定がもっと積極的に わかりやすいようにしてほしい。
- より広汎なテーマについて聞いて欲しい
- 外見からは分からない障害者をテーマにして欲しい！
- 社会的養護や離婚後の親権のことなど、子どもにとって逆境的体験になりうる事象について取り上げてほしい。
- 動植物(生物多様性など) や博物館発達障害のテーマ
- 発達障害のある子の支援のあり方について
- 障害者に対する内容が少ない。
- 社会問題(ニュースや話題になっているようなもの)についての話し合いが少ない
- もっといじめをしっかりと取り上げてほしい。子どもは本当に苦しんでいます。
- 妹がイジメられていたので、イジメやインクルーシブについて話をしてみたい。
- 子どもの多様性に合わせた遊び場をつくることについて
- 教職員の人数増加計画
- 学校での学習をよりよくする方法
- テーマ設定で、外交とか税金とか特定の政党が勝手に決めた国民、未来を生きる子どもたちを苦しめる政策について意見を聞いて反映すべき。政党への投票など意見をいうだけではなく選挙結果にも意見を反映すべき。子どもたちは特定の政党の政策に反対の人も多いのに勝手に決められると困る
- 緊急事態条項の追加に関する意見、性教育（性行為は取り扱わない方針とすることなど）について中高生を対象としたアンケート、マイナンバーカードへの信頼に関してなど、国会で議論されるテーマについて意見募集を積極的にすべきだと思う。投票だけでなく、パブコメの提出など政治参加の方法がいくらでもあり、意見を表明する訓練の場として機能するように努めていただきたい。民主主義を支える市民を育ててほしい。
- 真っ先に行うべき大事なテーマ(年少扶養控除、障害児の家庭含む所得制限、その他子育て世帯の税負担)があり、世論からも多数声が上がっているのに取り扱おうとしないのはなぜですか？X(Twitter)などのSNSの反応はきちんとみていますか？もっとSNSを活用して活発な意見交換をした方が良いと考えます。
- 正直、テーマ、アンケートに答えても子ども、若者向けの政策に反映されているかがわからない。直接関係無いテーマも多いと思う。LGBTQ+、子供、大人の発達障害、低用量ピルのドラッグストアでの販売、包括的性教育、ブラック校則などについても意見を募ってほしい。最近、児童手当の増額、保育士の無償化、大学費の無償化がされると聞いたが、子育て世代、とりわけ正規雇用の人間にはメリットはあるかもしれないが、若者世代の政策、減税や定額手当、補助金、奨学金の返済免除などはないに等しい。結婚をしているかつ、子供を作る世帯には優しいのに独身、子供を産まない若者に対して差があり、冷たいと感じた。上の世代は若者に子供を求めすぎ

だと思う。実際は経済的事情、性的志向、仕事と育児と家事の分担や、ワークライフバランスなどの事情で未婚、子供を作らない選択をする若者も多い。若者の実像を捉えていないと感じる。

- テーマ設定について提案できるようにしてほしいです。また、学校生活でもっと身近な設定にしてほしいです。
- テーマ設定の基準や、今後の開催予定テーマが分かると嬉しい
- テーマ設定を子どもから募ってほしい。
- テーマ募集のアンケートフォームは期限なしにずっと開いていた方が良いと思う。思い付いた時に意見できたらより活発になるのではないかと。
- テーマの募集についてはしないのか。対面・オンライン等の参加者の決定方法はどうなっているのか。
- テーマは子どもも決められるのか、実際に省庁内でどのように提言書が扱われているのか
- ぶらすメンバーが出したテーマについて話したい
- 以前にあった「このテーマでいけんひろばを開催してほしい」というアンケートは、定期的に行うといいと思う
- 採用するかしないかは別ですし、テーマは常に公募してもいいんじゃないかなあとと思います。いけんぶらすの認知度が低いので、もっとまめに発信して広報に力を入れたら増えるんじゃないかなと思います。
- 色々な省庁からのお願いで意見を聞くだけでなく、こども若者自信が意見を言いたいと思っているテーマをもっと扱って欲しい
- フリーテーマで意見を募集するなどして、こども家庭庁の皆さんには無かった視点を取り入れ、この国を良くしていこうとしていただきたい。また、こどもは、おとな（親）を救うためなど、使命があるから生まれてきて、今生きていることを知っていただきたい。
- こども家庭庁から送られてくるアンケートなど以外にも、何か困ったことや、子ども政策について個人的な要望がある人のために、いつでもそうした意見を表明できる場を設けてみてはどうでしょうか。
- ・送られるアンケートに自由回答の場が少なく、質問項目に不足・不満があった時に書く場所がない・メールのみの管理だとアンケートや実施案内に確認漏れがでるので、専用ウェブサイトもしくは現在受付中のものについてメールにリストを乗せてほしい・子ども家庭庁の活動や政府方針について、ニュース等で疑問に感じる事が多々あるが、それをリアルタイムにテーマ設定として提案できるような環境があれば嬉しい
- まだ「こども若者★いけんぶらす」がよくわかっていないが、常時要望などができるものがあるといいと思う。ご意見・ご要望フォーム (<https://www.cfa.go.jp/contact/>) もあるが、一定のハードルはあるように感じる。
- どのような人たちがやっているのか
- どのように意見が反映されているのか
- どんないことが話し合われたのか、落選すると内容すら共有されない

- メールで送られてきた内容に答えるのが、子ども若者いけんプラスでやれることなのではないでしょうか？またそれがどう活用されているのか知りたい時もあります
- アンケート結果はどうしていますか
- アンケートの回答内容がどのように反映されているのか、プロセスを見たい。
- アンケートや意見を基に、実際にどう活動していくのかを知りたい。国だけでなく、国から実際に地方にいる人へこういう意見があった、こういう活動を試してみませんか？と働きかけるようなことがあれば良いと思う。
- こどものことを考えてくれるの嬉しいです！ありがとうございます。でも、案や意見を言って、国で成立して、地方の末端の学校にまで下りてくるのってどれくらい時間がかかるのかなあと思います。
- みんなの意見を聞いたあと、どのくらいしんけんに対応してるのかわからない。意見を実現する専用の責任者が責任をもって対応してほしい。
- 実際にどのような政策にアンケートや会議が活かされる予定かもう少し詳しく書いてあると、回答しやすいと感じます。委託事業のため難しいとは思いますが「〇〇を守るために△するという社会のルールづくりのため」などやわらかくわかりやすい言葉で言い換えられてあると、小学生でも考えて回答することがしやすくなるのではないかと考えます。
- 子ども家庭庁が話題にあがることなく、この私達の意見を募る方法もどれくらい大人の考えに影響を与えられているのかが分からないのが少し不安。ただ、意見を募って下さっている方々に感謝したい。
- 各テーマの省庁の担当者が配置換え等でいけんひろばで出た意見やノウハウが消えることを懸念しています。これは議事録を残すだけでは駄目で、定期的に関係テーマだったり同じ系統の内容で議論を行い、担当者の方に当事者として生の意見に触れた上で理解を深めたり、引継ぎに活かして貰うことが重要です。
- いけんぷらすには、どのくらいの数の声が集まっているのでしょうか。
- 会員数とその分布について（年齢、性別等）
- 子供意見プラスは子供の意見を汲み取るために設置されたものであると承知しております。しかし、その目的はどのくらい達成されているのでしょうか？もしあまり達成されていないようでしたら別の方法を考え、改善するべきだと思います。参加者の出身都道府県の比率や、日本全体の若者に対する参加割合などを考えた時に、果たして現状が最善だと考えることができるのか、もしそう考えられない場合はどのような策を講じておりその成果は如何程のものなのか、教えて欲しいです。
- 小学生や日本語に不安のある方でも読める配慮が感じられますが、日本語に不自由がない中高生以上はカナ混じりの文章だと読みづらいのではないかと考えています・そもそもオンラインとか対面に出向けるのは比較的恵まれてる方なので・今回のメールの文面フリガナの入れ方が滅茶苦茶読みにくい。地震にルビ打って能登半島がそのまま理由が素人目には分からん、漢字を開くか参加者の希望や年齢を考慮して「漢字版」「やさしい日本語版」で文面変えて欲しい(イキって漢字版希望したけど読めなかったりした場合の為に併記や別版の文面リンクは付けて欲しい)

- 漢字を減らしてひらがなをつかうなどして小学生も「読める」ようにはしているが、「理解できる」ような書き方や伝え方になっていない。10歳の子供がいる職員がいれば、その子供に「意味分かる？」と聞いてみてほしい。「綱領」を「こうりょう」と開いても小学生にその言葉は難しい。
- 参加者の意見をまとめているのはすごくわかるし、ありがたいのだがこれって見てもらう、周知するためには最初の第一印象が大切だと思う。それは、パッと見で見やすいか、分かりやすいか、理解できるかで読むか読まないか、またはあとで見ると決めるか(いつの間にか忘れて見ない)に繋がるためだ。なので、意見を集約した文書はもっと分かりやすくすべきだと思う。無料で使えるWEBソフトもあるので改善してもらいたい。せっかくいいものを作ったとて成果を得られなければ意味がなくもったいないので。
- 所々、違和感を感じる表記がある。例:特定の性別の人を集めるために、一々議題?を募集するメールにその旨を記載している点。
- いけんプラスで話題になった記憶のない「子育て世帯へのリフォーム支援」等の政策は次々決定されるのに、子供の扶養控除を復活増額して欲しいという意見を出しても政策に反映されてない。不信感がある。利権優先はやめて国民の意見を聞いて欲しい。
- いじめ問題に向き合って対応をお願いいたします。
- ゲームでポイントを貯めて、例えば〇〇ポイント集まった人が首相に直接意見を言ったのは実現しそうですか？
- こども若者いけんぷらすは、特にこれから、文部科学省との連携は強化や学校のルール等の見直し啓発や、特に改革の優先度の高い物は、全て全国の小中高等学校で、私服化(自由な服装・軽装服装を含めて、また、私服を装った迂回的制服ルール原則禁止)の100%化をご検討して欲しい所存です。その上で、今後とも、こども若者いけんぷらすの取り組みも充実して欲しいです。
- この政策が人口減少や子供の自殺の増加などの喫緊の社会問題に向き合う気が感じられない。こども家庭庁の他の政策も税金の中抜きで利益を得るための政策ばかりなので、国民の利益に繋がることを行って欲しい
- なぜ、低所得者とそうでない人で支援が分かれますか。なぜ、3人兄弟の3人目は上が成長すると第一子となりますか。歳が離れていると、ずっと第一子です。大学無償化など大人がルールを決めるのではなく、子どもにも意見させてほしい。
- 詰め込み教育に不満があります。自分らしく自分のペースで学ばせて欲しい。
- 本当に役に立つと思ってやっているなら見直して欲しい。また、某団体により海外に消えた子供たちの行方をきちんと追って欲しい。とにかく信用できない。
- もっと簡単に教えてほしい
- 前問回答のとおりです。
- 子ども家庭庁について設立には様々な意見があったが、その設立と存続を正当化するための意見聴取になっていないかは我々には分からない。
- 本事業の委託事業者にどれくらい税金が中抜きされているのか疑問に思う

- 毎年名前が変わっていること、今年度特に★とか付いてださくないですか？いけんがらすって、ひらがなにするのも親しみやすさは大切ですがなんかズレてるなって感じました。
- こども若者★いけんがらす自体行政のオナニーで、公金チューチューの口実。私達は児ポ法なんて欲していないし、淫行条例も欲していないし、性的同意年齢の引き上げも欲していません。AV新法も要りません。ホスト新法もイラン。こども家庭庁、東京都、厚生労働省諸々の省庁は公金チューチューをやめろ。
- どうしてお前らは被虐待児を少しも救えないのですか？お前らの仕事が税金を無駄遣いしている自覚はあるのですか？被虐待児に「いけんがらす」へ意見を送れる環境が整っているとでも思っているのですか？
- まだまだ、こども家庭庁を知らない大人、子どもが多すぎる。僕は、自身の母が子どもアドボケイトとして、こども家庭庁が発足する事を知っていたので、そういう子ども達の意見をきちんと聞いてほしい。しかし、僕が住む所は、児童相談所にしか、アドボケイトとして、母も入っていきたくないので、母は、いじめや、少しやんちゃな子ども達に真剣に話を聞き、夢を見つける為に個人的にしているので、僕達の話を中心に聞いてくれる居場所づくりをしてもらいたい。と考えていている母です。今までにも、何人も話を聞いたりしてきました。母の思いが、実現出来れば、揉め事や、いじめもなくなるとおもいます。どうか、居場所づくりが出来るようにしてもらいたい。これは、僕を含め、周りの子ども達が望んでいる事です。力を貸してください。本当にお願います。
- 質問内容やお題の殆どが 20 代以上のメンバーが回答することを想定していない。にも関わらず身分証の提示が必須で子供が参加しにくい（これは参加人数の少なさにも表れている）。一体誰のための制度なのか？結局若者の意見を聞くというパフォーマンスに終始しているだけで何の意味もない。対象が 6 歳から 30 歳と広すぎることも、まともに話を聞く気が無いことの証左である。税金の無駄でしかないので、来年度はこんな下らない事業は廃止して、その予算を児童相談所や保育所の増員増設や待遇改善、結婚や子育て支援等本当に必要なことに割くべきである。
- こども家庭庁の HP が新しくなり、ワクワクした。沢山ある他の省庁も分かりやすく身近に感じられた。こども基本法のクイズ動画についてのいけんひろばに参加した際、感想の中で「こども家庭庁の動画だと言うと誰も見てくれないのではないか」と書いてしまった事を後悔している。すみませんでした。友達に楽しい HP があると広めている。これからも学びの扉と思い参加していきたい。
- 疑問や意見ではないですが、行っていることの理念がとても素晴らしいと思うので応援したいと思いいメンバー登録しました！多くの人にメンバーになってもらった方が良くと思うので、友達も誘ってみます！
- 政治は有権者（18 歳以上）の意見しか反映されない側面がありますが、こうして未成年者からも意見を収集する機会を設ける姿勢はとて素晴らしいと思います。これからも続けていっていただければ幸いです。
- ない（4 件）
- わからない けどいい
- わかんない

- 大丈夫です
- 特になし（9件）